

16チャンネル マルチビューワ DMV-160H

概要

DMV-160Hは、非同期のNTSCカメラを最大16台接続し、DVI出力対応のディスプレイに映像を表示します。単画面/4,6,9,12,16分割画面/自動切換え画面を表示します。

特長

●非同期のTVカメラを使用できますので、システムアップが簡単にできます。	
●DVI-I出力端子より高画質の単画面1~16チャンネルおよび4分割,6分割,9分割,12分割,16分割画面を出力しますので、集中監視ができます。	▶10ページ 画面表示
●NTSC出力よりDVI-I出力の画面表示と連動した映像を出力します。	▶7ページ 接続例
●映像出力の分割画面に任意のカメラ入力映像を配置できます。	▶27ページ 8-6.SCREEN PLACEMENT
●単画面,分割画面の自動切換え(オートシーケンス)機能を備えています。	▶10~12ページ 画面表示
●映像比率を選択できます。(4:3/フル画面)	▶22ページ 6.ASPECT RATIO
●各チャンネルに最長8文字のタイトルを挿入できます。	▶19ページ 4.TITLE
●日付・時刻表示機能を備えています。	▶17ページ 3.TIME SIGNAL
●外部より時刻の30秒補正ができます。	▶17ページ 3-1.30SEC. ADJUSTMENT
●アラーム信号入出力端子またはリモート入力端子を備えています。	▶9ページ アラーム/リモート…接続例
●アラーム発生情報を最大100件まで記録することができます。	▶15ページ 1-1-1.ALARM HISTORY
●ビデオロス検出情報を最大100件まで記録することができます。	▶16ページ 2-1-1.VIDEO LOSS HISTORY
●アラーム信号出力,ビデオロス信号出力を備えていますので、それぞれブザー等を接続することができます。	▶9ページ アラーム/リモート…接続例
●RS-232CおよびRS-485の外部制御を備えています。	▶8ページ
●イーサネットによる外部制御を備えています。	▶30ページ 8-8.ETHERNET
●EIA/JISのラックマウントが可能です。(取付金具は別売品)	▶44ページ ラックマウント方法

- 16チャンネル マルチビューワ DMV-160H をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	2	3-4.DISPLAY RANGE	18
各部の名称とはたらき	5	4.TITLE	
■前面部	5	4-1.SET CHANNEL SELECT	19
■背面部	5	4-2.DISPLAY	20
通信システムの種類	6	4-2-1.SINGLE SCREEN	20
システム例	7	4-2-2.DIV.4 SCREEN	20
■接続例	7	4-2-3.DIV.6 SCREEN	20
■RS-232Cピン アサイン(参考)	8	4-2-4.DIV.9 SCREEN	20
■RS-485の接続例	8	4-2-5.DIV.12 SCREEN	20
■アラーム/リモート信号入出力コネクタの接続例	9	4-2-6.DIV.16 SCREEN	20
基本動作	10	5.AUTO SEQUENCE	
■電源立上げ	10	5-1.SINGLE SCREEN	21
●デフォルト セット(全項目)	10	5-2.DIVISION SCREEN	21
●デフォルト セット	10	5-3.MODE	21
■映像出力	10	6.ASPECT RATIO	
●DVI出力	10	6-1.SINGLE SCREEN	22
●モニター映像出力	10	6-2.DIV.4 SCREEN	22
■画面表示	10	6-3.DIV.6 SCREEN	23
●単画面表示	10	6-4.DIV.9 SCREEN	23
●分割画面表示	11	6-5.DIV.12 SCREEN	23
●自動切換え表示(オート シーケンス動作)	12	6-6.DIV.16 SCREEN	23
■アラーム動作	12	7.VIDEO ADJUSTMENT	
●アラーム信号出力	12	7-1.BRIGHTNESS	24
●アラーム表示	12	7-2.CONTRAST	24
●アラーム動作の解除	12	7-3.SHARPNESS	24
■ビデオ ロス動作	13	7-4.HUE	25
●ビデオ ロス信号出力	13	7-5.SATURATION U	25
●ビデオ ロス表示	13	7-6.SATURATION V	25
●ビデオ ロス動作の解除	13	8.OTHERS…その他の設定	
メニューと専用ソフトの使い分け	14	8-1.CONNECTOR IN	25
メニュー設定	14	8-2.BORDER LINE	25
■メニュー表示	14	8-3.POWER ON SCREEN	26
■メニューの操作方法	14	8-4.SCREEN SIZE	26
1.ALARM		8-5.CHARACTER SIZE	26
1-1.HISTORY	15	8-6.SCREEN PLACEMENT	27
1-1-1.ALARM HISTORY	15	8-6-1.SCREEN PLACEMENT 4*	27
1-2.HISTORY ERASE	15	8-6-2.SCREEN PLACEMENT 6*	27
1-3.MODE	15	8-6-3.SCREEN PLACEMENT 9*	28
1-4.POLARITY	15	8-6-4.SCREEN PLACEMENT 12*	28
1-5.DURATION TIME	16	8-6-5.SCREEN PLACEMENT 16	29
1-6.RETURN	16	8-7.COMMUNICATION	29
1-7.DISPLAY	16	8-7-1.SLAVE ADDRESS	29
2.VIDEO LOSS		8-7-2.DATA RATE	29
2-1.HISTORY	16	8-7-3.PARITY	29
2-1-1.VIDEO LOSS HISTORY	16	8-7-4.STOP BIT	29
2-2.HISTORY ERASE	16	8-7-5.DATA LENGTH	29
2-3.SET	17	8-8.ETHERNET	30
2-4.DISPLAY	17	8-8-1.IP ADDR	30
2-5.BACKGROUND	17	8-8-2.GATEWAY	30
3.TIME SIGNAL		8-8-3.ACTIVE	30
3-1.30SEC. ADJUSTMENT	17	8-8-4.SUBNET MASK	30
3-2.CLOCK ADJUSTMENT	18	8-8-5.PORT NUMBER	30
3-3.DISPLAY	18	8-8-6.CONNECTION TRY	30
		8-8-7.MAINTENANCE	31

目次

専用ソフトの準備	31	10.ビデオ ロス	42
■ダウンロード	31	11.ビデオ ロス履歴	42
■インストール方法	31	12.分割画面配置	43
■起動画面	31	13.その他	43
■ファイル	31	14.全項目の設定	44
■インターフェイス	32	15.スレープアドレス	44
■プロトコル	35	16.メンテナンス(設定項目の読み込み)	44
専用ソフトの操作方法	37	ラック マウント方法	44
■設定	37	製品仕様	45
1.日付・時刻	37	故障かなと思う前に…	46
2.タイトル	38	品質保証規定	46
3.タイトル表示	38	おことわり	46
4.自動切り換え	39	必要なシステム構成	46
5.アラーム	39		
6.アラーム履歴	40		
7.アスペクト比	40		
8.ビデオ調整	41		
9.画面	41		

安全上のご注意 かならずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

■絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。



警告

<p>●本機のケース・裏パネル等はずさない！ 内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。 ・改造などは絶対におこなわないでください。 ・内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</p>	
<p>●本機を濡らさない！ 火災・感電の原因となります。 ・雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。 ・風呂・シャワー室などの水場では使用しないでください。 ・本機の上に水などの入った容器を置かないでください。 ・万一水などが中に入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。</p>	
<p>●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！ 万一異物が入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
<p>●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない！ 感電の原因となることがあります。</p>	
<p>●電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない！ ほこりによりショートや発熱が起って火災の原因となります。湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。</p>	
<p>●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！ コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。</p>	
<p>●雷が鳴り出したら使わない！ 電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。</p>	
<p>●アース線を接地する 感電を避けるためにならず接地をしてください。アース線は絶対にガス管に接続しないでください。 爆発や火災の原因となります。</p>	
<p>●電源電圧 100V±10%以外の電圧で使用しない！ 火災・感電の原因となります。</p>	
<p>●煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>	
<p>●本機が故障した場合、落としたりケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。</p>	
<p>●移動させる場合は、かならず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！ コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。</p>	
<p>●長期間使用しないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜く！ 火災の原因となることがあります。</p>	



注意

●本機の上にものを置かない！

バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。
また、重みによって故障の原因となることがあります。



●コード類は正しく配線する！

- ・電源コードを熱器具に近づけないでください。
- ・電源コードを本機の下敷きにしないでください。
- ・足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



●設置場所にご注意ください！

- ・不安定な場所に置かないでください。
- ・磁気を発生する機器の近くに置かないでください。
- ・直射日光のあたるところや熱器具の近くに置かないでください。
- ・冷凍倉庫や外気にさらされるなど、温度変化の激しいところには置かないでください。
- ・振動や衝撃の加わるところには置かないでください。
- ・腐食性ガスのあたるところには置かないでください。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたるところには置かないでください。



●本機の通風孔をふさがない！

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
壁から10cm以上離して設置してください。また、次のような使いかたはしないでください。
- ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く。
 - ・テーブルクロスなどをかける。



■定期点検とお手入れについて

※お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源コードのプラグを抜いてからおこなってください。



注意

●電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)場合は交換を依頼する！

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。

●内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。
機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災・故障の原因となることがあります。

●電源プラグの掃除をしてください

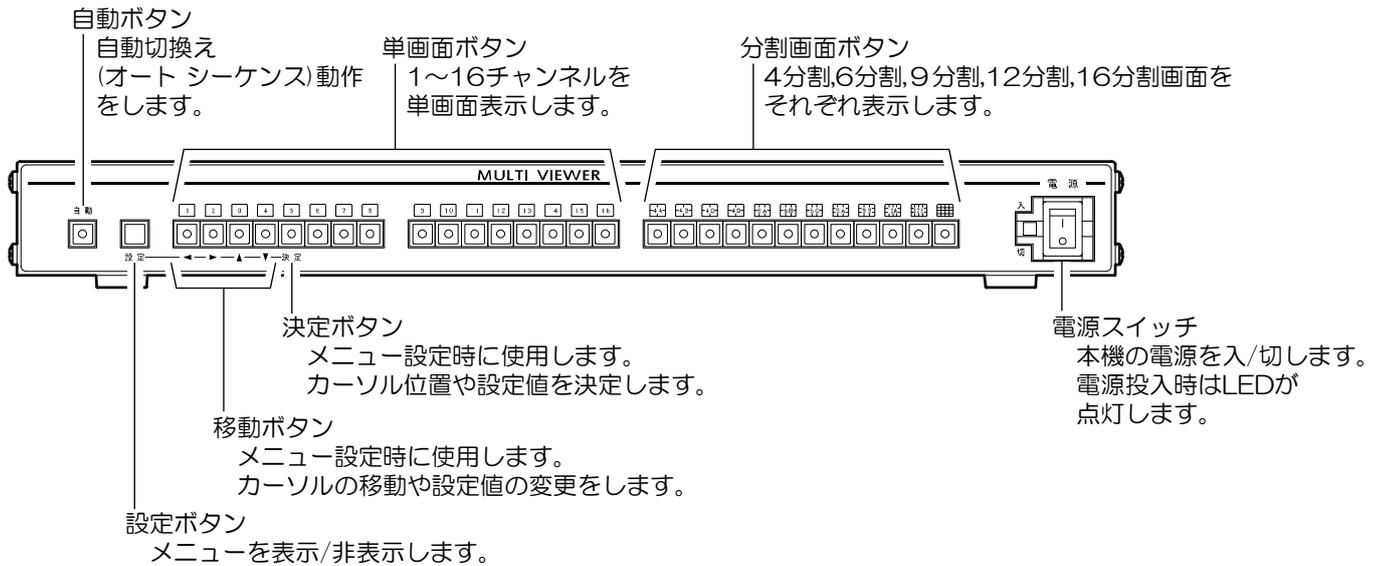
電源プラグを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因となることがあります。
年に一度くらいは、プラグを抜いてほこりを取ってください。

●カバーは乾いた布で拭いてください

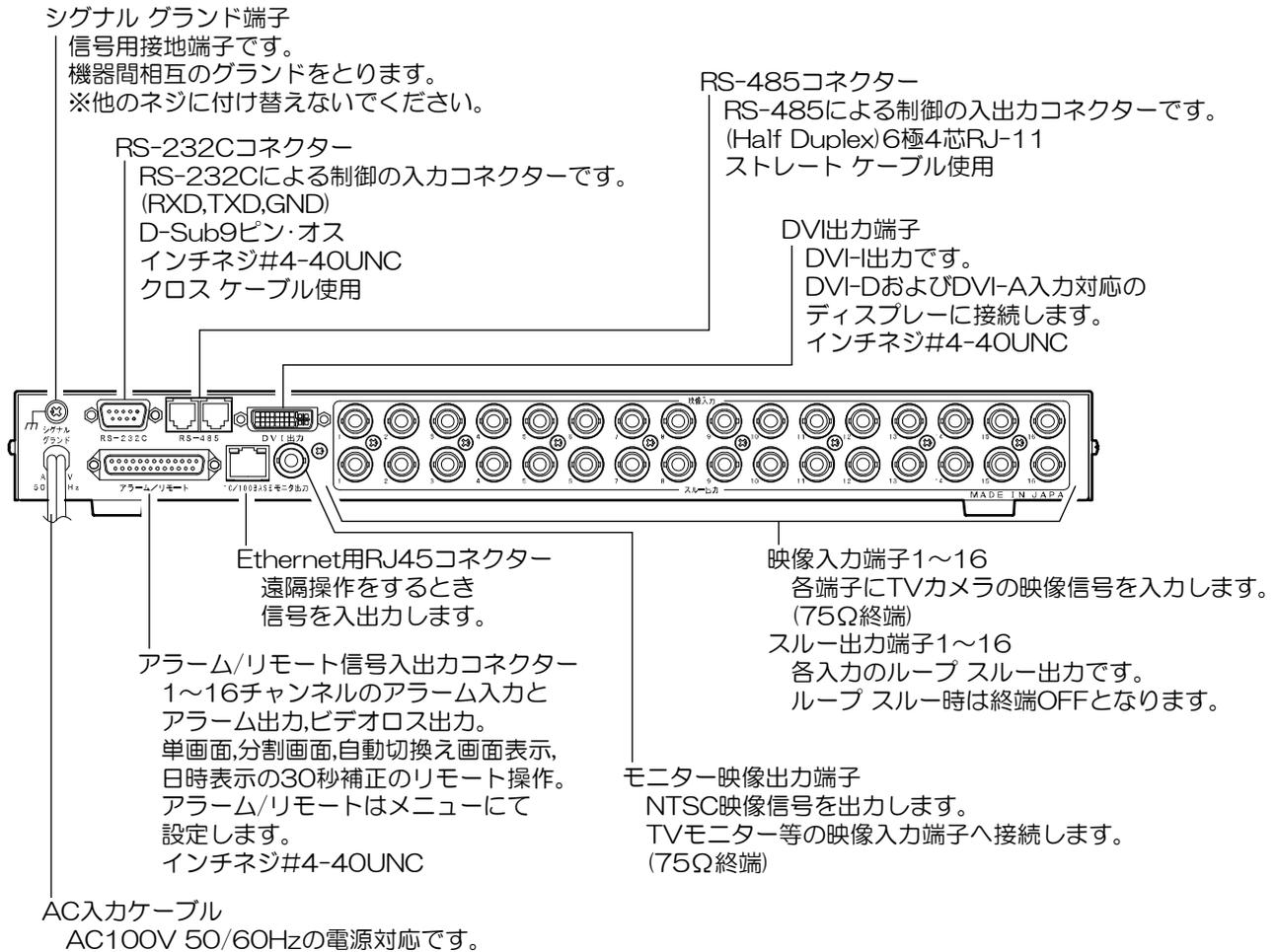
汚れがひどいときは、うすめの中性洗剤液を浸しよく絞った布で拭き取ってから、から拭きしてください。
このとき、液が内部に入らないように注意してください。
ベンジン、シンナー、アルコールなどの液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使用しないでください。

各部の名称とはたらき

■前面部



■背面部



通信システムの種類

本機はシリアル通信(RS-232C,RS-485)またはイーサネット通信(LAN,インターネット)により、コマンド送信または専用ソフトによる操作ができます。
 使用目的に合わせてシステムを構築していただくことにより、一層効果的にご活用いただくことができます。
 通信の設定方法は、32~34 ページ ■**インターフェイス** をご参照ください。
 通信を必要としない場合は、次ページへお進みください。

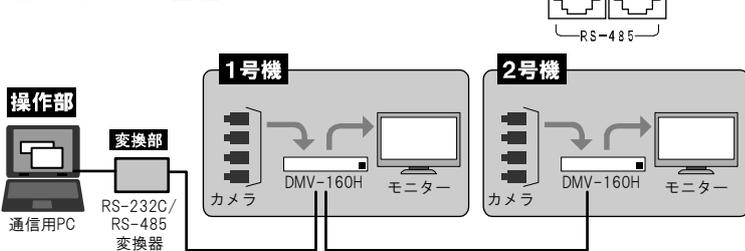
補足(クライアントとサーバーについて)

- クライアントは、ソケット接続が確立するまでサーバーに対し要求を続けます。
- サーバーは、クライアントからのソケット接続要求をリスン状態で待機します。

①シリアル通信(RS-232C)

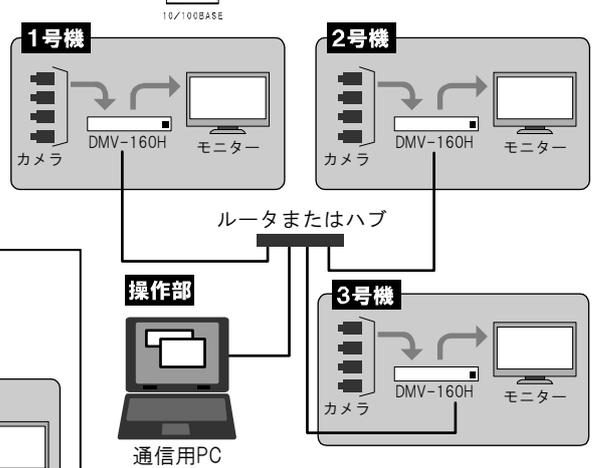


②シリアル通信(RS-485)



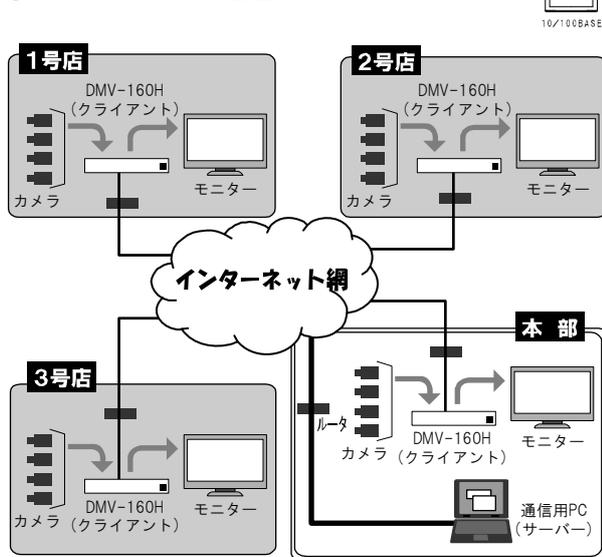
設定用パソコンで、複数台の DMV-160H を操作する場合に適しています。RS-485 カスケード接続は 31 号機まで、最長 1.2 km まで対応できます。

③LAN



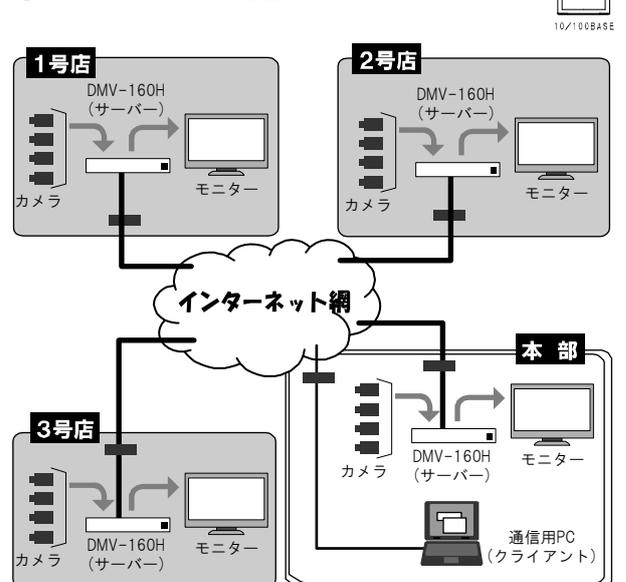
複数台の DMV-160H と設定用パソコンが LAN 内にある場合に適しています。

④イーサネット経由(クライアント)



イーサネットを経由して設定用パソコンと DMV-160H で情報を送受信する場合の例です。DMV-160H をクライアント、パソコンをサーバーとする使用方法です。

⑤イーサネット経由(サーバー)



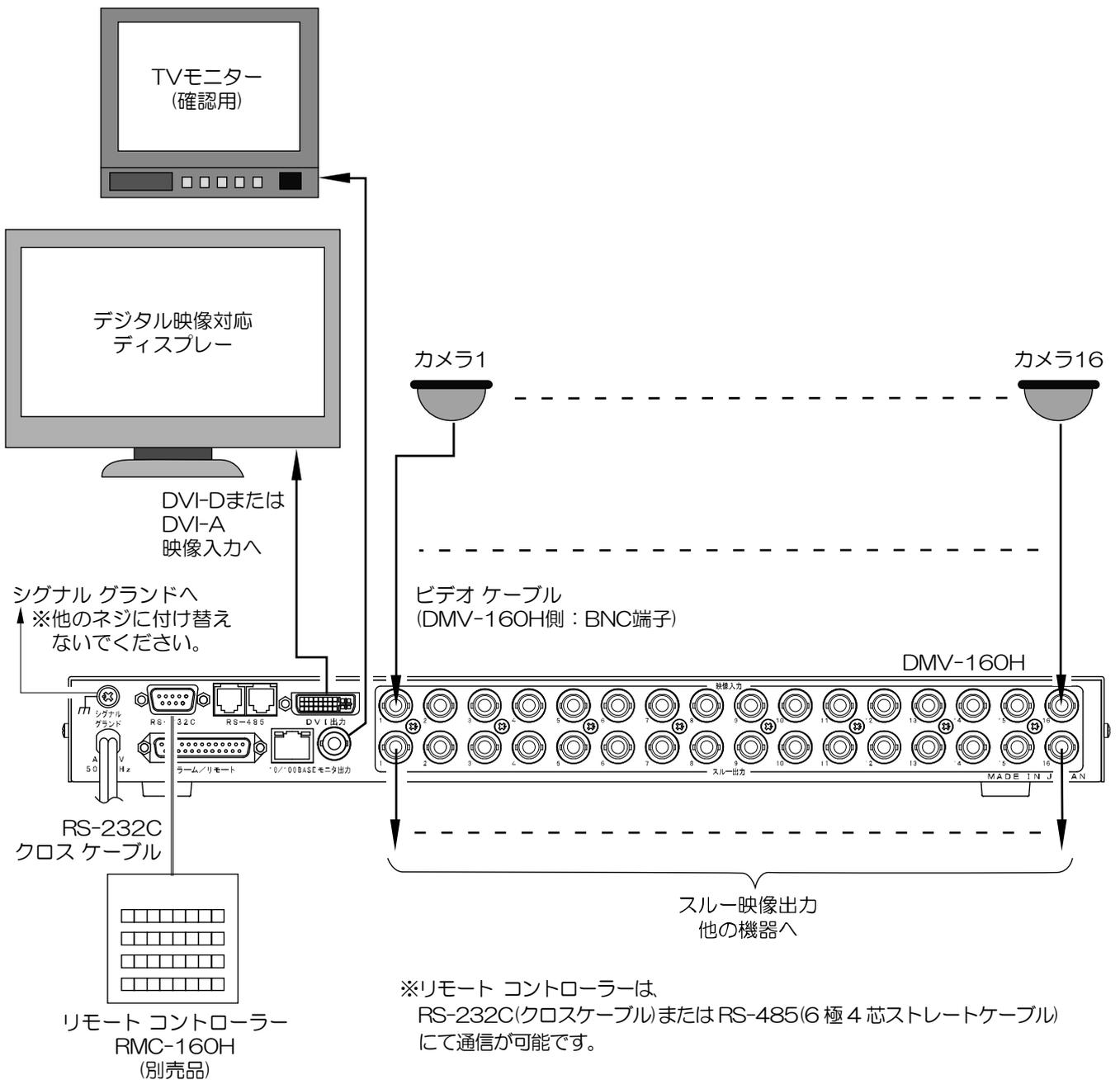
イーサネットを経由して設定用パソコンと DMV-160H で情報を送受信する場合の例です。DMV-160H をサーバー、パソコンをクライアントとする使用方法です。

システム例

■接続例

カメラ 16 台を入力し、映像をディスプレイに出力する基本的なシステム例です。
 前面ボタンで各チャンネルを切替えたり、メニューを操作して設定を変更したりします。
 リモート コントローラー RMC-160H(別売品)は前面ボタンと同じ機能があります。

- 注意
- 電源は全ての接続が終わってからつないでください。
 - 電源をつなぐ前にならずコンセントの電圧を確認してください。
 - 本機の各映像入出力端子には電圧を加えないでください。
 - RS-485 通信,RS-232C 通信,イーサネット通信は同時に使用できません。
 - パソコンと RS-232C コネクタの接続にはクロス ケーブルを使用してください。
 - カメラ 16 台未満でご使用になるときは、かならず映像入力 1 から入力してください。
 - DVI ケーブルは高品位のものを使用してください。(安価なケーブルは正常に表示されないことがあります。)
 - シグナル グランドは備え付けのネジを使用し、他のネジに付け替えないでください。
 - 電源投入後、起動するまでの間(約 3 秒間)は、映像信号のケーブルの抜き/差しはしないでください。



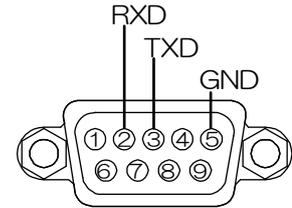
システム例

■RS-232Cピン アサイン(参考)

本機のRS-232Cは三線式(RXD, TXD, GND)で、フロー制御をしていません。

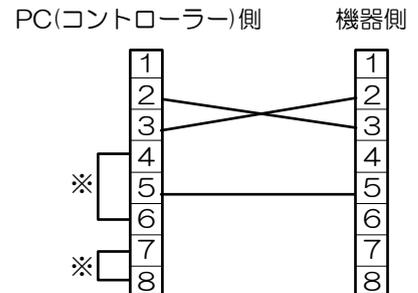
RS-232C/RS-485/LAN コマンド表は、アルテックス WEB サイトよりダウンロードできますのでご利用ください。

<http://www.n-artics.co.jp/download/>



D-Sub9ピン(オス)

※フロー制御が必要な場合はPC(コントローラー)側の④-⑥,⑦-⑧を短絡してください。



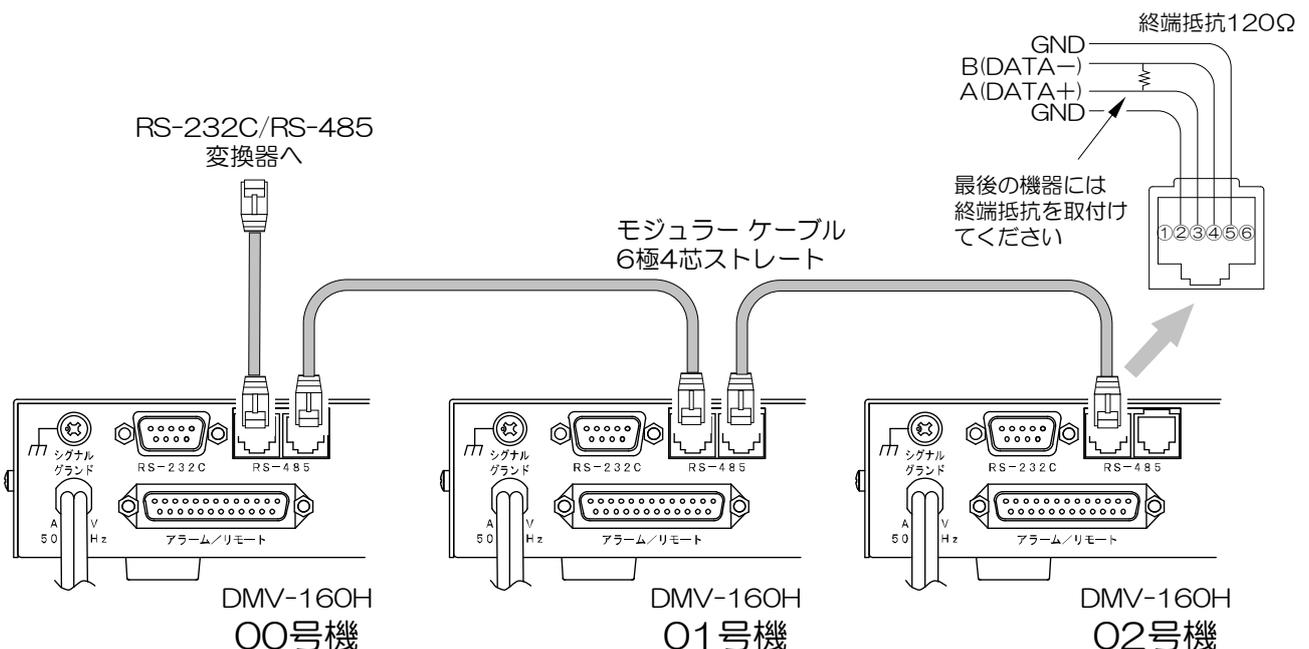
■RS-485の接続例

- 注意
- 電源をつなぐ前にかならずコンセントの電圧を確認してください。
 - 各映像入出力端子には電圧を加えないでください。
 - RS-485通信,RS-232C通信,イーサネット通信は同時に使用できません。
 - カスケード接続内に本機以外の機器があるときは一斉送信ができません。
 - 一斉送信時はアンサーバックがありません。

本機のRS-485は半二重通信(Half duplex)方式です。

接続前にあらかじめ各機の号機(00~31)を設定してください。(29ページ 8-7-1.SLAVE ADDRESS 参照)
31号機までカスケード接続できます。ケーブルは全長1.2kmまで通信可能です。下図のように終端抵抗を取りつけてください。

RS-485ドライバーより号機を指定して信号を送信します。
号機を“FF”として送信するとブロードキャスト(一斉送信)となります。



システム例

■アラーム/リモート信号入出力コネクタの接続例

右の配線図を参考にして接続してください。

- 注意 ●アラーム機能とリモート機能は同時に使用できません。
- メニュー表示中は信号を受け付けません。
- アラーム/リモート信号入力には電圧を加えないでください。
- TVカメラを入力していないチャンネルには、アラーム/リモート信号を入力しないでください。
- ノイズの多い場所では入力、およびスイッチの両端に、0.01~0.1μFのセラミックコンデンサーを取り付けてください。
- 20 および 25 端子は絶対に接続しないでください。

※メニューにてアラームまたはリモートを設定してください。

(25 ページ 8-1.CONNECTOR IN 参照)

※信号入力

パルス幅： 100msec.以上

パルス間隔： 200msec.以上

アラーム時： メイク/ブレイク接点

リモート時： メイク接点

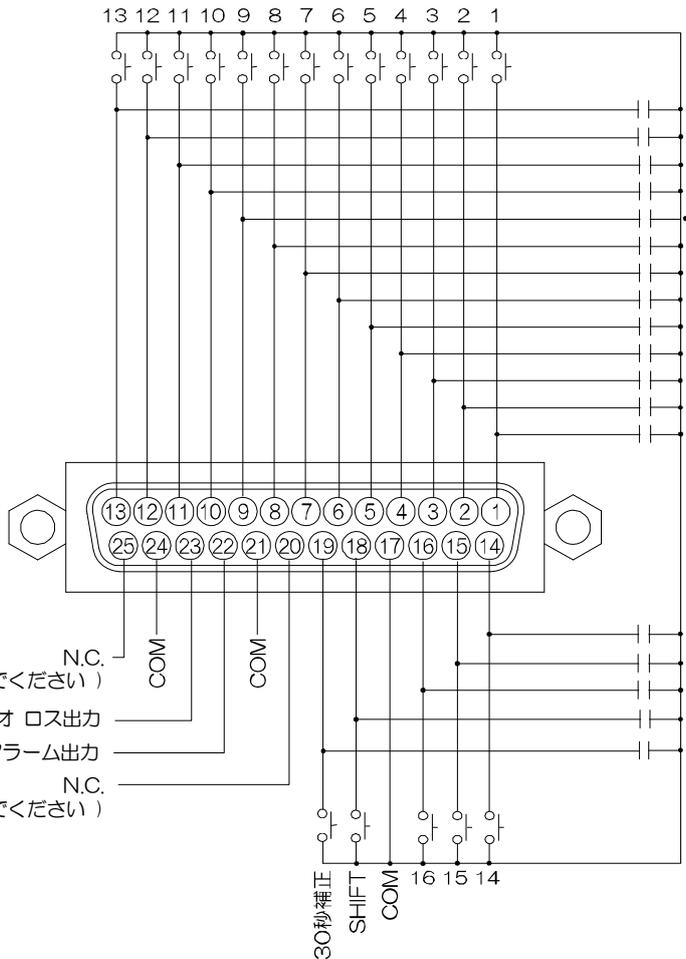
(絶対に接続しないでください)

ビデオ ロス出力

アラーム出力

N.C.

(絶対に接続しないでください)



PIN No.	アラーム機能	リモート機能	PIN No.	アラーム機能	リモート機能
1	CH.01 入力	単画面 CH.01 表示 +SHIFT 4 分割 A 表示	12	CH.12 入力	単画面 CH.12 表示 +SHIFT 16 分割表示
2	CH.02 入力	単画面 CH.02 表示 +SHIFT 4 分割 B 表示	13	CH.13 入力	単画面 CH.13 表示 +SHIFT 自動切換え
3	CH.03 入力	単画面 CH.03 表示 +SHIFT 4 分割 C 表示	14	CH.14 入力	単画面 CH.14 表示
4	CH.04 入力	単画面 CH.04 表示 +SHIFT 4 分割 D 表示	15	CH.15 入力	単画面 CH.15 表示
5	CH.05 入力	単画面 CH.05 表示 +SHIFT 6 分割 A 表示	16	CH.16 入力	単画面 CH.16 表示
6	CH.06 入力	単画面 CH.06 表示 +SHIFT 6 分割 B 表示	17	COMMON	
7	CH.07 入力	単画面 CH.07 表示 +SHIFT 6 分割 C 表示	18	SHIFT	
8	CH.08 入力	単画面 CH.08 表示 +SHIFT 9 分割 A 表示	19	30 秒補正	
9	CH.09 入力	単画面 CH.09 表示 +SHIFT 9 分割 B 表示	20	N.C.(絶対に接続しないでください)	
10	CH.10 入力	単画面 CH.10 表示 +SHIFT 12 分割 A 表示	21	COMMON	
11	CH.11 入力	単画面 CH.11 表示 +SHIFT 12 分割 B 表示	22	アラーム出力 (1~16 入力時出力) O.C. DC12V100mA 以下	
			23	ビデオ ロス出力(ビデオ ロス検出時出力) O.C. DC12V100mA 以下	
			24	COMMON	
			25	N.C.(絶対に接続しないでください)	

基本動作

操作上のご注意—この説明書をよくお読みになり、記載されていない意味のない操作、および乱暴な操作は絶対におこなわないでください。

■電源立上げ

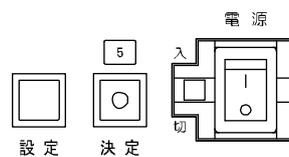
各種接続がしっかりおこなわれているかを確認してください。
AC 入力ケーブルをコンセントに接続したあとで、機器前面の電源スイッチを入れてください。
映像出力端子から映像が出ていることを DVI 出力の画面で確認してください。
電源を入れると緑色 LED が点灯し、電源を切ると緑色 LED は消灯します。

注意

- 電源立上げ後、起動するまでの間(約 3 秒間)は、映像信号のケーブルの抜き/差しはしないでください。
- 初めてお使いになるときは、電源立上げ後、画面にバージョン情報の表示が残っていたり日時が正常に表示されていない場合がありますが、これは故障ではありません。
このときは電源を立ち上げたまま約 1 分間経ってから、いったん電源スイッチを切り再度入れると正常に表示します。その後、日時を調整してください。(17 ページ 3.TIME SIGNAL 参照)

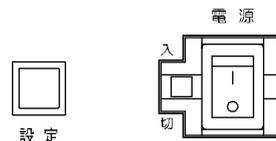
●デフォルト セット(全項目)

映像レベル、アラーム履歴、ビデオ ロス履歴を含めメニューの各設定値をすべて工場出荷時設定に戻す操作です。
設定ボタンと決定ボタンを同時に押したまま電源スイッチを入れます。
DVI 出力の画面に“DEFAULT SET ALL”の文字が表示することを確認してください。



●デフォルト セット

メニューの各設定値を工場出荷時設定に戻す操作です。
映像レベル、アラーム履歴、ビデオ ロス履歴は工場出荷時設定に戻りません。
設定ボタンを押したまま電源スイッチを入れます。
DVI 出力の画面に“DEFAULT SET”の文字が表示することを確認してください。



■映像出力

●DVI 出力

DVI-H 出力コネクタなので、DVI-D 入力および DVI-A 入力(アナログ RGB)のディスプレイに対応しています。
また接続するディスプレイに合わせて、出力映像サイズを選択してください。(26 ページ 8-4.SCREEN SIZE 参照)

値	ディスプレイの映像サイズ
1920×1080	HD1080p
1280×1024	SXGA
1280×768	WXGA
1024×768	XGA



※工場出荷時設定 映像サイズ：1920×1080 アスペクト比：4:3

●モニター映像出力

NTSC 映像信号を出力します。DVI 出力の画面表示と連動します。



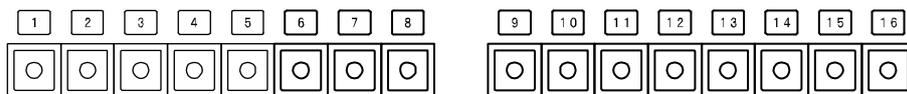
注意

- 出力映像にてごく稀にコマ飛び現象が発生することがありますが、入力映像と出力映像のフォーマットが異なるためであり、故障ではありません。

■画面表示

●単画面表示

1~16 ボタンを押すと単画面 1~16 チャンネルが映像出力から出力されます。



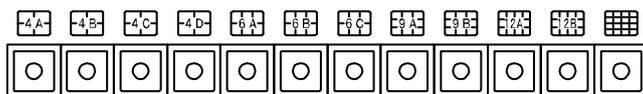
単画面(4:3)

左図の表示例はアスペクト比、映像サイズともに工場出荷時設定の例です。
アスペクト比および映像サイズはメニューにて設定してください。
(22 ページ 6.ASPECT RATIO および 26 ページ 8-4.SCREEN SIZE 参照)

基本動作

●分割画面表示

分割ボタンを押すと、それぞれの分割画面が映像出力から出力されます。



ボタン	分割画面	工場出荷時の表示チャンネル	表示例
4A	4分割A	1~4チャンネル	<p>4分割画面(4:3)</p>
4B	4分割B	5~8チャンネル	
4C	4分割C	9~12チャンネル	
4D	4分割D	13~16チャンネル	
6A	6分割A	1~6チャンネル	<p>6分割画面(4:3)</p>
6B	6分割B	7~12チャンネル	
6C	6分割C	13~16,1,2チャンネル	
9A	9分割A	1~9チャンネル	<p>9分割画面(4:3)</p>
9B	9分割B	8~16チャンネル	
12A	12分割A	1~12チャンネル	<p>12分割画面(4:3)</p>
12B	12分割B	5~16チャンネル	
	16分割	1~16チャンネル	<p>16分割画面(4:3)</p>

各分割画面のチャンネル表示は任意に配置することができます。メニューにて設定してください。
(27 ページ 8-6.SCREEN PLACEMENT 参照)

上表の表示例はアスペクト比映像サイズともに工場出荷時設定の例です。
アスペクト比および映像サイズはメニューにて設定してください。
(22 ページ 6.ASPECT RATIO および 26 ページ 8-4.SCREEN SIZE 参照)

基本動作

●自動切換え表示(オート シーケンス動作)

自動ボタンを押すと、工場出荷時設定では映像が自動的に次の順で切り替わります。
 単画面 1→2→3→4→5→6→7→8→9→10→11→12→13→14→15→16→
 4 分割画面 A→B→C→D→6 分割画面 A→B→C→9 分割 A→B→12 分割 A→B→16 分割→
 単画面 1→2→3→...

自動



各画面の表示時間は0~99秒の間で設定できます。
 (0秒はスキップ)
 (21 ページ 5.AUTO SEQUENCE 参照)

AUTO SEQUENCE

- 1. SINGLE SCREEN
- 2. DIVISION SCREEN
- 3. MODE-----MIX
- 4. ESCAPE

■アラーム動作

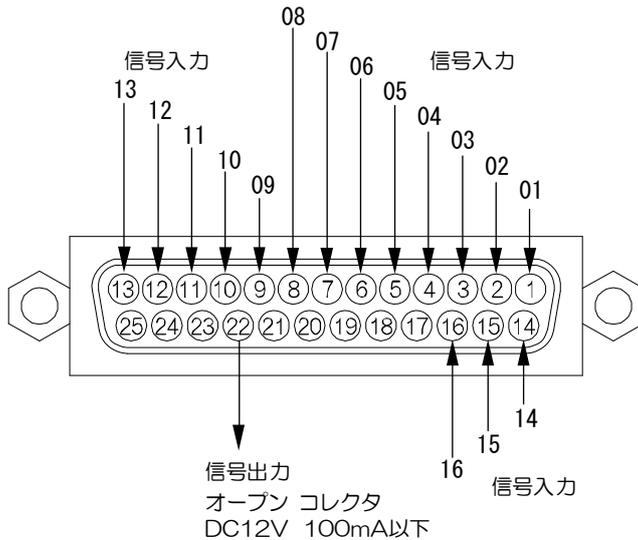
背面のアラーム/リモート信号入出力コネクタ1~16に信号入力があると、アラーム動作します。

アラーム動作はメニューに履歴が100件まで保存されます。
 また、アラーム動作の設定を変更できます。
 (15~16 ページ 1.ALARM 参照)

ALARM HISTORY				PAGE01
NO.	CH.	DATE	TIME	
001	16	2010.11.23	22:45:33	
002	02	2010.11.23	22:56:03	
003	03	2010.11.23	23:04:12	
004	16	2010.12.01	01:45:11	
005	15	2010.12.23	24:45:04	
006	11	2011.02.23	06:06:33	
007	06	2011.02.23	08:55:26	
008	07	2011.02.24	06:05:45	
009	01	2011.02.24	22:42:33	
010	02	2011.03.03	01:43:14	

●アラーム信号出力

1~16に信号入力があると、22端子から信号を出力します。



●アラーム表示

映像出力の映像は、アラームのあったチャンネルの単画面表示に切り替わり、画面左上に“ALARM”が表示されます。

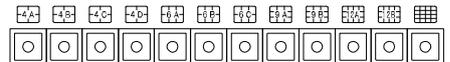
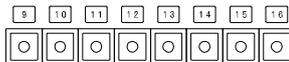
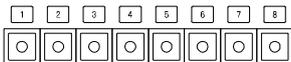


アラーム表示例

●アラーム動作の解除

アラーム動作が終了すると元の画面表示に戻ります。
 即座にアラーム動作を解除したい場合は、
 自動/1~16/分割ボタンのいずれかを押してください。

自動



注意

- アラーム機能とリモート機能は同時に使用できません。
- メニュー表示中はアラーム入力信号を受け付けません。
- アラーム/リモート信号入出力コネクタには電圧を加えないでください。
- ノイズの多い場所では、入力およびスイッチの両端に0.01~0.1μFのセラミックコンデンサを取り付けてください。

基本動作

■ビデオ ロス動作

映像入力 1～16 に映像が入力されていない状態を検出すると、ビデオ ロス動作をします。



ビデオ ロス動作はメニューに履歴が 100 件まで残ります。

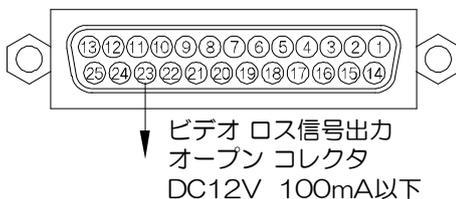
また、ビデオ ロス動作の設定を変更できます。

(16～17 ページ 2.VIDEO LOSS 参照)

VIDEO LOSS HISTORY PAGE01				
NO.	CH.	DATE	TIME	
001	15	2011.01.23	24:45:04	
002	11	2011.02.23	06:06:33	
003	06	2011.02.23	08:55:26	
004	07	2011.02.24	06:05:45	
005	01	2011.02.24	22:42:33	
006	02	2011.03.03	01:43:14	
007	16	2011.11.23	22:45:33	
008	02	2011.11.23	22:56:03	
009	03	2011.11.23	23:04:12	
010	16	2011.12.01	01:45:11	

●ビデオ ロス信号出力

ビデオ ロスを検出すると、23 端子から信号を出力します。

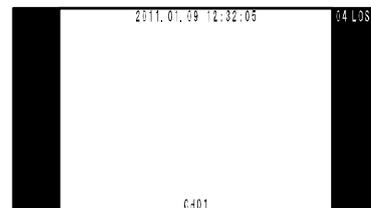


●ビデオ ロス表示

映像出力の画面右上に “** Loss” が表示されます。

**はビデオ ロスのあるチャンネルです。

複数のビデオ ロスがある場合は一番若い番号のチャンネルが表示されます。



ビデオ ロス表示例

●ビデオ ロス動作の解除

ビデオ ロスのチャンネルに映像が入力されるようになると、解除されます。

- | | |
|----|-------------------------|
| 注意 | ●メニュー表示中はビデオ ロスを検出しません。 |
| | ●アラーム動作中はビデオ ロスを検出しません。 |

メニューと専用ソフトの使い分け

メニュー表示中は専用ソフトからの設定はできません。

設定・操作が可能なものと不可のものがありますので、下表でご確認ください。

●メニューだけ可(専用ソフトでは不可)	●専用ソフトだけ可(メニューでは不可)
<ul style="list-style-type: none"> RS-485 号機設定 (29 ページ) シリアル通信時のデータレートなどの設定 (29 ページ) 出力映像サイズ(HD1080p/SXGA/WXGA/XGA)の設定 (26 ページ) 	<ul style="list-style-type: none"> プリセットのファイル保存

メニュー設定

■メニュー表示

設定ボタンを押すと、ディスプレイにメニュー(MAIN MENU)が表示されます。メニューを終了するときも、設定ボタンを押します。



設定

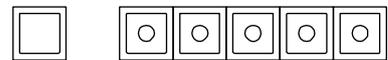
- 注意**
- 設定ボタンは次の状態では受け付けられず、メニューを表示/終了できません。
 - ・アラーム動作中
 - ・メニューの値が点滅中(終了できません)
 - メニュー表示中はアラーム/リモート信号入力を受け付けません。
 - メニュー表示中の映像はチャンネル 1 に切り替わり、メニューを終了すると元の画面に戻ります。映像入力 1 にはかならず映像信号を入力してください。

MAIN MENU

- 1. ALARM
- 2. VIDEO LOSS
- 3. TIME SIGNAL
- 4. TITLE
- 5. AUTO SEQUENCE
- 6. ASPECT RATIO
- 7. VIDEO ADJUSTMENT
- 8. OTHERS

■メニューの操作方法

メニューに共通の基本的な操作方法を説明します。より詳細な操作方法は次ページ以降の各項目で説明します。



設定 ← → ▲ ▼ 決定

●設定したい項目を選ぶとき

▲、▼ボタンで設定したい項目にカーソル(●)を合わせ決定ボタンを押すと、サブメニューが表示されるか、設定値が点滅します。

●設定値を変更したいとき

設定値が点滅したら▲、▼ボタンで値を変更し、決定ボタンを押します。

ALARM

- 1. HISTORY 034
- 2. HISTORY ERASE
- 3. MODE----- INTERNAL
- 4. POLARITY----- MAKE
- 5. DURATION TIME--- 010
- 6. RETURN----- ON
- 7. DISPLAY----- ON
- 8. ESCAPE

●点滅を移動したいとき

◀、▶、▲、▼ボタンで点滅を移動させ、決定ボタンを押します。

●前のメニューに戻りたいとき

▲、▼ボタンで各サブメニューの“ESCAPE”の項目にカーソル(●)を合わせ、決定ボタンを押すと前のメニューに戻ります。

●メニューを終了したいとき

設定値が点滅していないときに設定ボタンを押すと終了します。

TITLE SET

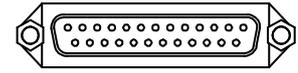
CHANNEL01 ■■■■■■■■■■

0123456789A
 B C D E F G H I J K L
 M N O P Q R S T U V W
 X Y Z [] ^ _ / : ;

メニュー設定

1.ALARM

背面のアラーム/リモート信号入出力コネクタに信号入力があったときの、アラーム動作を設定します。



アラーム/リモート

1-1.HISTORY

アラーム動作の履歴を表示します。

“1. HISTORY” の右側には記録されているアラームの件数を表示します。最大 100 件まで表示します。
※工場出荷時設定 000

ALARM	
● 1. HISTORY	034
2. HISTORY ERASE	
3. MODE-----	INTERNAL
4. POLARITY-----	MAKE
5. DURATION TIME---	010
6. RETURN-----	ON
7. DISPLAY-----	ON
8. ESCAPE	

1-1-1.ALARM HISTORY

“1. HISTORY” にカーソル(●)を合わせて決定ボタンを押すと ALARM HISTORY 画面(右図)が表示されます。この画面にはアラームの履歴(アラーム番号,チャンネル,日付,時刻)が表示されます。

履歴は“PAGE01”～“PAGE10”(右上表示)まで 10 件ずつ最大 100 件まで記録されます。PAGE を進めたり戻したりするには▲,▼ボタンを押します。

履歴が 100 件を越えると、古い記録から消去されます。1 件目のデータは消去され、2 件目の記録が 1 件目に移動します。

前の ALARM 画面に戻るには、決定ボタンを押します。

ALARM HISTORY				PAGE01
NO.	CH.	DATE	TIME	
001	16	2010.11.23	22:45:33	
002	02	2010.11.23	22:56:03	
003	03	2010.11.23	23:04:12	
004	16	2010.12.01	01:45:11	
005	15	2010.12.23	24:45:04	
006	11	2011.02.23	06:06:33	
007	06	2011.02.23	08:55:26	
008	07	2011.02.24	06:05:45	
009	01	2011.02.24	22:42:33	
010	02	2011.03.03	01:43:14	

注意 ●アラーム履歴は、デフォルト セット(全項目)をおこなうと、すべて消去されます。

1-2.HISTORY ERASE

アラーム履歴を消去します。カーソル(●)を合わせて決定ボタンを押すと“NO” が点滅表示します。

▲,▼ボタンで値を変更して決定ボタンで決定します。

値	動作
YES	履歴を消去する
NO	履歴を消去しない

ALARM	
1. HISTORY	
● 2. HISTORY ERASE	089 YES
3. MODE-----	INTERNAL
4. POLARITY-----	MAKE
5. DURATION TIME---	010
6. RETURN-----	ON
7. DISPLAY-----	ON
8. ESCAPE	

1-3.MODE

アラーム動作の保持モードを設定します。

値	動作
INTERNAL	“5. DURATION TIME” で設定した時間、アラーム動作を保持する
EXTERNAL	センサー信号等が入力されている間、アラーム動作を保持する

※工場出荷時設定 INTERNAL

1-4.POLARITY

アラーム 1～16 に入力される信号の検出点を設定します。

値	動作
MAKE	ノーマル オープン センサー等が閉じたとき検出
BREAK	ノーマル クローズ センサー等が開いたとき検出

※工場出荷時設定 MAKE

※“3. MODE” が“INTERNAL” のとき有効です。

メニュー設定

1-5.DURATION TIME

アラーム動作の保持時間を 003~999(秒)の間で設定します。

※工場出荷時設定 010(秒)

※002(秒)以下の設定はできません。

※“3. MODE”が“INTERNAL”のとき有効です。

1-6.RETURN

アラーム動作解除後のチャンネル表示を設定します。

値	動作
ON	アラーム前の状態に戻る
OFF	アラーム入力があったチャンネルの単画面のまま表示

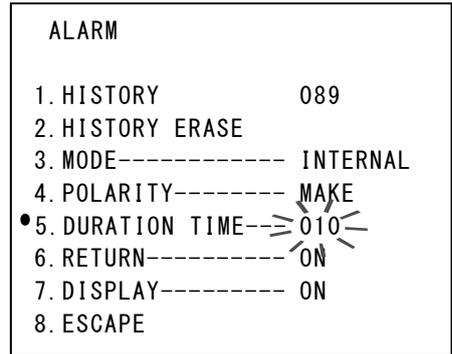
※工場出荷時設定 ON

1-7.DISPLAY

アラーム動作中、画面左上に“ALARM”の表示を設定します。

値	動作
ON	“ALARM”を表示する
OFF	“ALARM”を表示しない

※工場出荷時設定 ON



アラーム表示例

2.VIDEO LOSS

映像入力 1~16 に映像が入力されていない状態を検出したときのビデオ ロス動作を設定します。

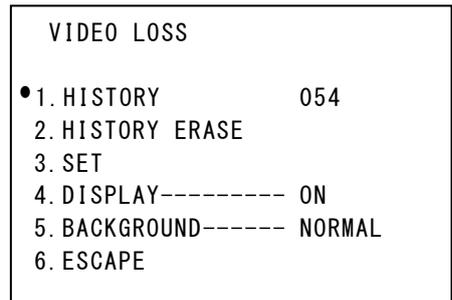
2-1.HISTORY

ビデオ ロスの履歴を表示します。

“1. HISTORY”の右側には記録されているビデオ ロスの件数を表示します。

最大 100 件まで表示します。

※工場出荷時設定 000



2-1-1.VIDEO LOSS HISTORY

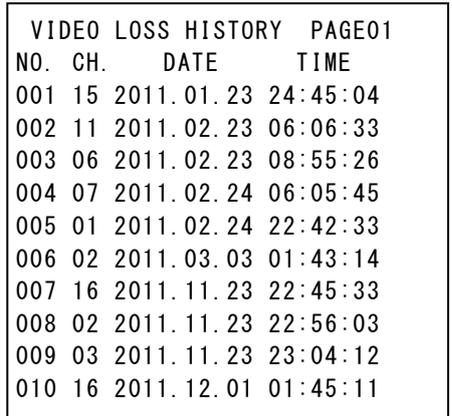
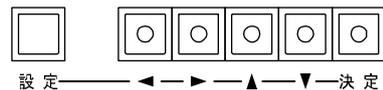
“1. HISTORY”にカーソル(●)を合わせて決定ボタンを押すと VIDEO LOSS HISTORY 画面(右図)が表示されます。この画面にはビデオ ロスの履歴(ビデオ ロス番号,チャンネル,日付,時刻)が表示されます。

履歴は“PAGE01”~“PAGE10”(右上表示)まで 10 件ずつ最大 100 件まで記録されます。PAGE を進めたり戻したりするには▲,▼ボタンを押します。

履歴が 100 件を越えると、古い記録から消去されます。1 件目のデータは消去され、2 件目の記録が 1 件目に移動します。

前の VIDEO LOSS 画面に戻るには、決定ボタンを押します。

注意 ●ビデオ ロスの履歴は、デフォルト セット(全項目)をおこなうと、すべて消去されます。

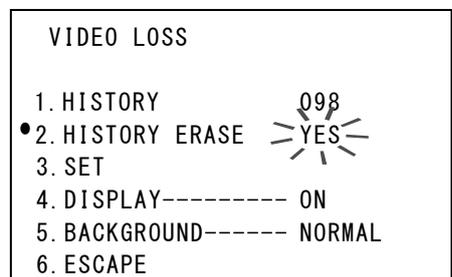


2-2.HISTORY ERASE

ビデオ ロスの履歴を消去します。カーソル(●)を合わせて決定ボタンを押すと“N0”が点滅表示します。

▲,▼ボタンで値を変更して決定ボタンで決定します。

値	動作
YES	履歴を消去する
NO	履歴を消去しない



メニュー設定

2-3.SET

ビデオ ロスの検出/非検出をチャンネルごとに設定します。

値	動作
ON	映像の無入力を検出してビデオ ロスを表示,出力,記録する
OFF	映像の無入力を検出しない

※工場出荷時設定 全チャンネル:OFF

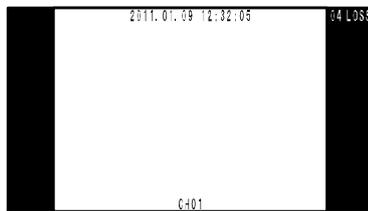
VIDEO LOSS SET			
CH.	ON/OFF	CH.	ON/OFF
●01	ON	09	OFF
02	OFF	10	OFF
03	OFF	11	OFF
04	OFF	12	OFF
05	OFF	13	OFF
06	OFF	14	OFF
07	OFF	15	OFF
08	OFF	16	OFF
ESCAPE		ESCAPE	

2-4.DISPLAY

ビデオ ロスを検出したとき“LOSS”の表示を設定します。

値	動作
ON	画面右上に“** LOSS”を表示する(**はチャンネル)
OFF	ビデオ ロスを検出しても“** LOSS”を表示しない

※工場出荷時設定 ON



ビデオ ロス表示例

VIDEO LOSS	
1. HISTORY	054
2. HISTORY ERASE	
3. SET	
●4. DISPLAY-----	ON
5. BACKGROUND-----	NORMAL
6. ESCAPE	

2-5.BACKGROUND

ビデオ ロス時の画面背景色を設定します。

値	背景色
NORMAL	黒表示
BLUE	青表示

※工場出荷時設定 NORMAL

3.TIME SIGNAL

日付・時刻の調整と画面表示を設定します。

日付・時刻の表示位置は画面中央上部で固定です。

3-1.30SEC.ADJUSTMENT

表示されている日時の“秒”の値を30秒単位で調整します。

“1. 30SEC. ADJUSTMENT”にカーソル(●)を合わせ決定ボタンを押すと下表のとおり調整されます。

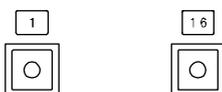
“2. CLOCK ADJUSTMENT”の項目の日時表示の右端の秒の値を見ながら、決定ボタンを押してください。

決定ボタンを押すときの秒の値	調整される時間
00~29(秒)	現在の分の00(秒)
30~59(秒)	1分進んで00(秒)

TIME SIGNAL	
●1. 30SEC. ADJUSTMENT	
2. CLOCK ADJUSTMENT	2010.12.24 14:29:34
3. DISPLAY-----	ON
4. DISPLAY RANGE----	YMDHMS
5. ESCAPE	

※メニュー設定以外の30秒調整

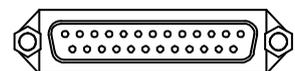
- [1] ボタンと [16] ボタンを同時に押します。



- 背面のリモート端子“30秒補正”に信号入力します。

ただし、メニュー表示中は信号を受け付けません。

(9ページ) ■アラーム/リモート信号入出力コネクタの接続例 参照



アラーム/リモート

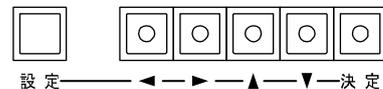
メニュー設定

3-2.CLOCK ADJUSTMENT

現在の日付・時刻を調整します。

カーソル(●)で“2. CLOCK ADJUSTMENT”を選択し、決定ボタンを押すと年の値から点滅します。

◀,▶ボタンで点滅を移動させ、▲,▼ボタンで値を変更します。
決定ボタンを押すと点滅が消えて、日時が決定します。



3-3.DISPLAY

画面への日付・時刻を表示/非表示します。

値	動作
ON	画面に日付・時刻を表示する
OFF	画面に日付・時刻を表示しない

※工場出荷時設定 ON

3-4.DISPLAY RANGE

日付・時刻の表示形式を設定します。

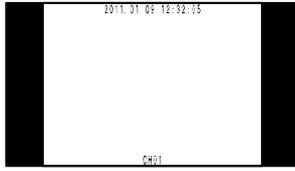
値	表示例
YMDHMS	2011.02.24 14:29:34
YMDHM	2011.02.24 14:29
YMD	2011.02.24
MDHMS	02.24 14:29:34
MDHM	02.24 14:29
MD	02.24
HMS	14:29:34
HM	14:29

※工場出荷時設定 YMDHMS

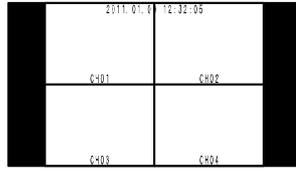
メニュー設定

4.TITLE

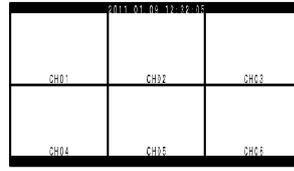
各チャンネルのタイトルに関する設定をします。
各画面のタイトル表示は下図のイメージを参考にしてください。



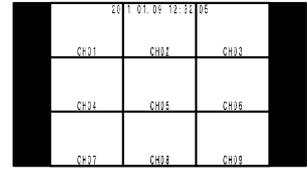
単画面(4:3)



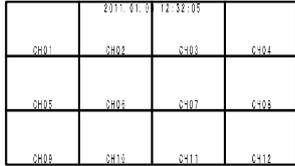
4分割画面(4:3)



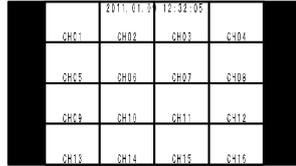
6分割画面(4:3)



9分割画面(4:3)



12分割画面(16:9)



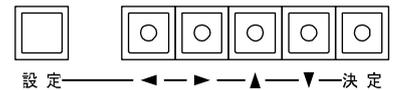
16分割画面(4:3)

TITLE

- 1. SET CHANNEL SELECT
- 2. DISPLAY
- 3. ESCAPE

4-1.SET CHANNEL SELECT

チャンネルごとにタイトルを設定します。
各チャンネル8文字まで入力できます。



①TITLE SET CHANNEL SELECT 画面で、タイトルを設定したいチャンネルを選択します。

決定ボタンを押すと、TITLE SET 画面が表示されます。

TITLE SET CHANNEL SELECT

CH.	CH.
● 01 ■■CH01■■	09 ■■CH09■■
02 ■■CH02■■	10 ■■CH10■■
03 ■■CH03■■	11 ■■CH11■■
04 ■■CH04■■	12 ■■CH12■■
05 ■■CH05■■	13 ■■CH13■■
06 ■■CH06■■	14 ■■CH14■■
07 ■■CH07■■	15 ■■CH15■■
08 ■■CH08■■	16 ■■CH16■■
ESCAPE	ESCAPE

②TITLE SET 画面で、上から2行目“■■CH01■■”の部分が文字入力範囲(8文字)で、左端が点滅しています。

“■”と表示されているところはスペースです。

③◀,▶ボタンで点滅を移動させ、入力したい場所で決定ボタンを押すと、下の文字一覧の同じ文字が点滅します。

④文字一覧内の点滅を◀,▶,▲,▼ボタンで移動させ、入力したい文字で決定ボタンを押すと2行目の文字入力範囲に入力されます。スペースの入力は“0”の左側や“A”の右側などで決定ボタンを押します。

⑤ ③と④を繰り返して文字を入力します。

⑥最後に2行目の“■■CH01■■”の右端へ点滅を移動させると“●”が表示し点滅しますので、そこで決定ボタンを押すと入力内容が確定し、前の画面に戻ります。

⑦他のチャンネルも①～⑥を繰り返して入力します。

TITLE SET

CHANNEL01 ■■CH01■■

0123456789A
BCDEFGHIJKL
MNOPQRSTUVWXYZ
XYZ[] ° + - / : ,

※工場出荷時設定 CH01～CH16

メニュー設定

4-2.DISPLAY

各画面のタイトルの表示/非表示を設定します。

4-2-1.SINGLE SCREEN

単画面へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	表示
ON	単画面にタイトルを表示する
OFF	単画面にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON

4-2-2.DIV.4 SCREEN

4分割画面へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	表示
ON	4分割画面にタイトルを表示する
OFF	4分割画面にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON

4-2-3.DIV.6 SCREEN

6分割画面へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	表示
ON	6分割画面にタイトルを表示する
OFF	6分割画面にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON

4-2-4.DIV.9 SCREEN

9分割画面へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	表示
ON	9分割画面にタイトルを表示する
OFF	9分割画面にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON

4-2-5.DIV.12 SCREEN

12分割画面へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	表示
ON	12分割画面にタイトルを表示する
OFF	12分割画面にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON

4-2-6.DIV.16 SCREEN

16分割画面へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	表示
ON	16分割画面にタイトルを表示する
OFF	16分割画面にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON

TITLE DISPLAY

- 1. SINGLE SCREEN---ON
- 2. DIV. 4 SCREEN---ON
- 3. DIV. 6 SCREEN---ON
- 4. DIV. 9 SCREEN---ON
- 5. DIV. 12 SCREEN---ON
- 6. DIV. 16 SCREEN---ON
- 7. ESCAPE

メニュー設定

5. AUTO SEQUENCE

オート シーケンス(自動切換え)動作を設定します。

自動



5-1.SINGLE SCREEN

単画面のオート シーケンス動作時の各チャンネルの表示時間を設定します。

各チャンネル00~99(秒)の値で設定します。

“00”を選択したときは、そのチャンネルはスキップします。映像信号入力のないチャンネルはスキップしてください。

※工場出荷時設定 全チャンネル:03(秒)

※全チャンネルを00(秒)とすることはできません。

5-2.DIVISION SCREEN

分割画面のオート シーケンス動作時の各画面の表示時間を設定します。

各分割画面00~99(秒)の値で設定します。

“00”を選択したときは、その画面はスキップします。

※工場出荷時設定 全分割画面:03(秒)

※全分割画面を00(秒)とすることはできません。

5-3.MODE

オート シーケンス動作の表示画面のパターンを設定します。

値	動作
SINGLE	単画面だけの自動切換え
DIVISION	分割画面だけの自動切換え
MIX	単画面と分割画面の自動切換え

※工場出荷時設定 MIX

AUTO SEQUENCE

- 1. SINGLE SCREEN
- 2. DIVISION SCREEN
- 3. MODE-----MIX
- 4. ESCAPE

AUTO SEQUENCE SINGLE

CH.	CH.
• 01 03	09 03
02 03	10 03
03 03	11 03
04 03	12 03
05 03	13 03
06 03	14 03
07 03	15 03
08 03	16 03
ESCAPE	ESCAPE

AUTO SEQUENCE DIVISION

• 4A 03	9B 03
4B 03	12A 03
4C 03	12B 03
4D 03	16 03
6A 03	
6B 03	
6C 03	
9A 03	
ESCAPE	ESCAPE

メニュー設定

6.ASPECT RATIO

各画面のアスペクト比をそれぞれ設定します。

ASPECT RATIO

- 1. SINGLE SCREEN --- 4:3
- 2. DIV. 4 SCREEN --- 4:3
- 3. DIV. 6 SCREEN --- 4:3
- 4. DIV. 9 SCREEN --- 4:3
- 5. DIV. 12 SCREEN --- 4:3
- 6. DIV. 16 SCREEN --- 4:3
- 7. ESCAPE

設定された映像サイズにより、下表のとおりメニューの設定値が変わります。
(26 ページ 8-4.SCREEN SIZE 参照)

映像サイズとアスペクト比の設定値の関係

映像サイズ 画面	1920×1080	1280×1024	1280×768	1024×768
単画面	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 固定
4 分割画面	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 固定
6 分割画面	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL
9 分割画面	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 固定
12 分割画面	4:3 固定	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL
16 分割画面	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 固定

6-1.SINGLE SCREEN

単画面時のアスペクト比を 4:3/FULL から選択します。

※工場出荷時設定 4:3

※映像サイズが 1024×768 のときは 4:3 固定です。

※1920×1080 の表示例



単画面 (4:3)



単画面 (FULL)

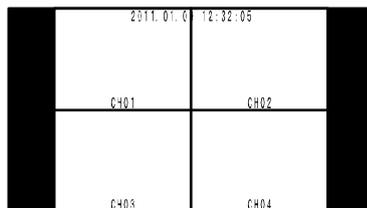
6-2.DIV.4 SCREEN

4 分割画面時のアスペクト比を 4:3/FULL から選択します。

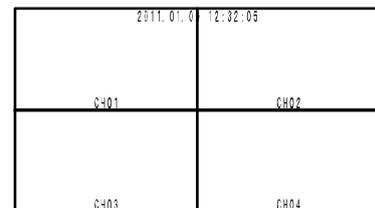
※工場出荷時設定 4:3

※映像サイズが 1024×768 のときは 4:3 固定です。

※1920×1080 の表示例



4 分割画面 (4:3)



4 分割画面 (FULL)

メニュー設定

6-3.DIV.6 SCREEN

6分割画面時のアスペクト比を 4:3/FULL から選択します。

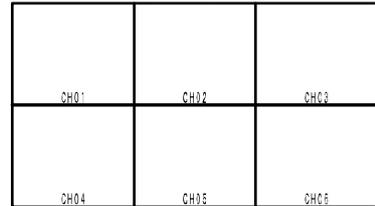
※工場出荷時設定 4:3

ASPECT RATIO	
1. SINGLE SCREEN---	4:3
2. DIV. 4 SCREEN---	4:3
● 3. DIV. 6 SCREEN---	4:3
4. DIV. 9 SCREEN---	4:3
5. DIV. 12 SCREEN---	4:3
6. DIV. 16 SCREEN---	4:3
7. ESCAPE	

※1920×1080 の表示例



6分割画面(4:3)



6分割画面(FULL)

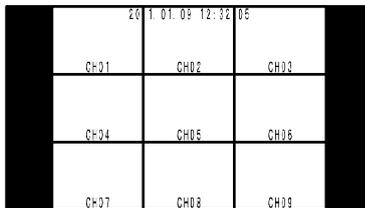
6-4.DIV.9 SCREEN

9分割画面時のアスペクト比を 4:3/FULL から選択します。

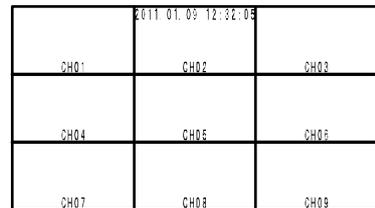
※工場出荷時設定 4:3

※映像サイズが 1024×768 のときは 4:3 固定です。

※1920×1080 の表示例



9分割画面(4:3)



9分割画面(FULL)

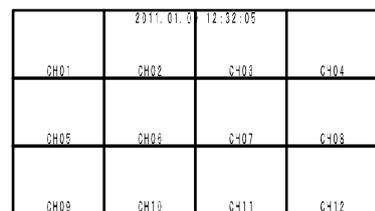
6-5.DIV.12 SCREEN

12分割画面時のアスペクト比を 4:3/FULL から選択します。

※工場出荷時設定 4:3

※映像サイズが 1920×1080 のときは 4:3 固定です。

※1920×1080 の表示例



12分割画面(4:3)

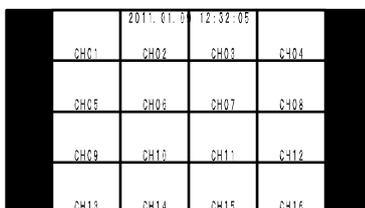
6-6.DIV.16 SCREEN

16分割画面時のアスペクト比を 4:3/FULL から選択します。

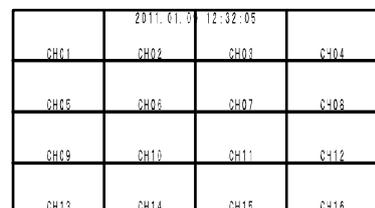
※工場出荷時設定 4:3

※映像サイズが 1024×768 のときは 4:3 固定です。

※1920×1080 の表示例



16分割画面(4:3)



16分割画面(FULL)

メニュー設定

7.VIDEO ADJUSTMENT

映像レベルをチャンネルごとに設定します。

VIDEO ADJUSTMENT

- 1. BRIGHTNESS
- 2. CONTRAST
- 3. SHARPNESS
- 4. HUE
- 5. SATURATION U
- 6. SATURATION V
- 7. ESCAPE

7-1.BRIGHTNESS

1～16 各チャンネルの映像の明るさを調節します。

256 段階(000～255)

値	128	←→	255,000	←→	127
明るさ	暗	←→		←→	明

※工場出荷時設定 各チャンネル 000

VIDEO ADJ. BRIGHTNESS

CH.	VIDEO ADJ.	CH.	BRIGHTNESS
● 01	000	09	000
02	000	10	000
03	000	11	000
04	000	12	000
05	000	13	000
06	000	14	000
07	000	15	000
08	000	16	000
	ESCAPE		ESCAPE

7-2.CONTRAST

1～16 各チャンネルの映像のコントラストを調節します。

256 段階(000～255)

値	000	←→	255
コントラスト	暗	←→	明

※工場出荷時設定 各チャンネル 092(%)

VIDEO ADJ. CONTRAST

CH.	VIDEO ADJ.	CH.	CONTRAST
● 01	092	09	092
02	092	10	092
03	092	11	092
04	092	12	092
05	092	13	092
06	092	14	092
07	092	15	092
08	092	16	092
	ESCAPE		ESCAPE

7-3.SHARPNESS

1～16 各チャンネルの映像のシャープネスを調節します。

16 段階(00～15)

値	00	←→	15
シャープネス	弱	←→	強

※工場出荷時設定 各チャンネル 01

VIDEO ADJ. SHARPNESS

CH.	VIDEO ADJ.	CH.	SHARPNESS
● 01	01	09	01
02	01	10	01
03	01	11	01
04	01	12	01
05	01	13	01
06	01	14	01
07	01	15	01
08	01	16	01
	ESCAPE		ESCAPE

メニュー設定

7-4.HUE

1~16 各チャンネルの映像の色調を調節します。
256 段階(000~255)

値	000	←————→	255
色調	弱	←————→	強

※工場出荷時設定 各チャンネル 000

VIDEO ADJ. HUE			
CH.		CH.	
●01	000	09	000
02	000	10	000
03	000	11	000
04	000	12	000
05	000	13	000
06	000	14	000
07	000	15	000
08	000	16	000
	ESCAPE		ESCAPE

7-5.SATURATION U

1~16 各チャンネルの映像のクロマU色相を調節します。
256 段階(000~255)

値	000	←————→	255
クロマU色相	弱	←————→	強

※工場出荷時設定 各チャンネル 128

VIDEO ADJ. SATURATION U			
CH.		CH.	
●01	128	09	128
02	128	10	128
03	128	11	128
04	128	12	128
05	128	13	128
06	128	14	128
07	128	15	128
08	128	16	128
	ESCAPE		ESCAPE

7-6.SATURATION V

1~16 各チャンネルの映像のクロマV色相を調節します。
256 段階(000~255)

値	000	←————→	255
クロマU色相	弱	←————→	強

※工場出荷時設定 各チャンネル 128

VIDEO ADJ. SATURATION V			
CH.		CH.	
●01	128	09	128
02	128	10	128
03	128	11	128
04	128	12	128
05	128	13	128
06	128	14	128
07	128	15	128
08	128	16	128
	ESCAPE		ESCAPE

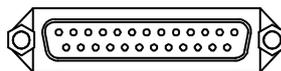
8. OTHERS

8-1.CONNECTOR IN

背面のアラーム/リモート信号入出力コネクタの用途を設定します。

値	動作
ALARM	アラーム入力として使用する
REMOTE	リモート単画面として使用する

※工場出荷時設定 ALARM



アラーム/リモート

8-2.BORDER LINE

分割画面時のボーダーライン(境界線)を設定します。

値	表示
WHITE	白のボーダーライン
GRAY	グレーのボーダーライン
BLACK	黒のボーダーライン

※工場出荷時設定 BLACK

OTHERS
●1. CONNECTOR IN----ALARM
2. BORDER LINE-----BLACK
3. POWER ON SCREEN-DIV.16
4. SCREEN SIZE-----1920X1080
5. CHARACTER SIZE--NORMAL
6. SCREEN PLACEMENT
7. COMMUNICATION
8. ETHERNET
9. ESCAPE

メニュー設定

8-3. POWER ON SCREEN

電源スイッチを入れたときに最初に表示する画面を設定します。

値	表示
SEQUENCE	オート シーケンス(自動切換え)
CH.01	単画面 1
}	}
CH.16	単画面 16
DIV.4A	4 分割画面 A
}	}
DIV.4D	4 分割画面 D
DIV.6A	6 分割画面 A
}	}
DIV.6C	6 分割画面 C
DIV.9A	9 分割画面 A
DIV.9B	9 分割画面 B
DIV.12A	12 分割画面 A
DIV.12B	12 分割画面 B
DIV.16	16 分割画面

※工場出荷時設定 DIV.16

8-4. SCREEN SIZE

出力映像サイズを設定します。

接続するディスプレイに合わせて、サイズを選択してください。

値	映像サイズ
1920×1080	HD1080p 16:9
1280×1024	SXGA 5:4
1280×768	WXGA 5:3
1024×768	XGA 4:3

※工場出荷時設定 1920×1080

注意 ●ご使用のディスプレイによっては、映像サイズの変更を認識できないことがあります。
その場合は DMV-160H の電源を切り、約 10 秒後に再度電源を入れると認識されます。

OTHERS

1. CONNECTOR IN----ALARM
2. BORDER LINE-----BLACK
3. POWER ON SCREEN-DIV. 16
- 4. SCREEN SIZE-----1920X1080
5. CHARACTER SIZE---NORMAL
6. SCREEN PLACEMENT
7. COMMUNICATION
8. ETHERNET
9. ESCAPE

8-5. CHARACTER SIZE

日付,タイトル,アラーム等の文字サイズを設定します。

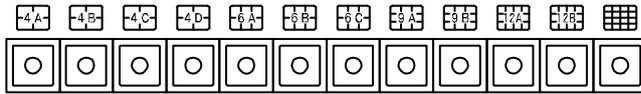
値	文字サイズ
NORMAL	標準サイズ
SMALL	小さいサイズ

※工場出荷時設定 NORMAL

メニュー設定

8-6. SCREEN PLACEMENT

各分割ボタンを押したときに表示される各分割画面にチャンネル1~16を配置します。



“SCREEN PLACEMENT”画面で配置を設定したい分割画面を選択します。

SCREEN PLACEMENT	
●4A	9B
4B	12A
4C	12B
4D	16
6A	
6B	
6C	
9A	
ESCAPE	ESCAPE

8-6-1. SCREEN PLACEMENT 4*

4分割A~D画面にチャンネル1~16を配置します。
No.1~4の位置は下図のとおりです。

No. 1	No. 2
No. 3	No. 4

※工場出荷時設定

位置 画面	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4
4A	CH.01	CH.02	CH.03	CH.04
4B	CH.05	CH.06	CH.07	CH.08
4C	CH.09	CH.10	CH.11	CH.12
4D	CH.13	CH.14	CH.15	CH.16

SCREEN PLACEMENT 4*	
NO.	CH.
●01	01
02	02
03	03
04	04
ESCAPE	

注意 ●同じチャンネルを2つ以上同時に表示することはできません。同じチャンネルが2つ以上設定されていると“ESCAPE”で前のメニューに戻ることができません。

8-6-2. SCREEN PLACEMENT 6*

6分割A~C画面にチャンネル1~16を配置します。
No.1~6の位置は下図のとおりです。

No. 1	No. 2	No. 3
No. 4	No. 5	No. 6

※工場出荷時設定

位置 画面	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5	NO.6
6A	CH.01	CH.02	CH.03	CH.04	CH.05	CH.06
6B	CH.07	CH.08	CH.09	CH.10	CH.11	CH.12
6C	CH.13	CH.14	CH.15	CH.16	CH.01	CH.02

SCREEN PLACEMENT 6*	
NO.	CH.
●01	01
02	02
03	03
04	04
05	05
06	06
ESCAPE	

注意 ●同じチャンネルを2つ以上同時に表示することはできません。同じチャンネルが2つ以上設定されていると“ESCAPE”で前のメニューに戻ることができません。

メニュー設定

8-6-3. SCREEN PLACEMENT 9*

9分割 A,B 画面にチャンネル 1~16 を配置します。
No.1~9 の位置は下図のとおりです。

No. 1	No. 2	No. 3
No. 4	No. 5	No. 6
No. 7	No. 8	No. 9

SCREEN PLACEMENT 9*			
NO.	CH.	NO.	CH.
●01	01	09	09
02	02		
03	03		
04	04		
05	05		
06	06		
07	07		
08	08		
ESCAPE		ESCAPE	

※工場出荷時設定

位置 画面	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5	NO.6	NO.7	NO.8	NO.9
9A	CH.01	CH.02	CH.03	CH.04	CH.05	CH.06	CH.07	CH.08	CH.09
9B	CH.08	CH.09	CH.10	CH.11	CH.12	CH.13	CH.14	CH.15	CH.16

注意 ●同じチャンネルを2つ以上同時に表示することはできません。同じチャンネルが2つ以上設定されていると“ESCAPE”で前のメニューに戻ることができません。

8-6-4. SCREEN PLACEMENT 12*

12分割 A,B 画面にチャンネル 1~16 を配置します。
No.01~12 の位置は下図のとおりです。

No. 01	No. 02	No. 03	No. 04
No. 05	No. 06	No. 07	No. 08
No. 09	No. 10	No. 11	No. 12

SCREEN PLACEMENT 12*			
NO.	CH.	NO.	CH.
●01	01	09	09
02	02	10	10
03	03	11	11
04	04	12	12
05	05		
06	06		
07	07		
08	08		
ESCAPE		ESCAPE	

※工場出荷時設定

位置 画面	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5	NO.6	NO.7	NO.8	NO.9	NO.10	NO.11	NO.12
12A	CH.01	CH.02	CH.03	CH.04	CH.05	CH.06	CH.07	CH.08	CH.09	CH.10	CH.11	CH.12
12B	CH.05	CH.06	CH.07	CH.08	CH.09	CH.10	CH.11	CH.12	CH.13	CH.14	CH.15	CH.16

注意 ●同じチャンネルを2つ以上同時に表示することはできません。同じチャンネルが2つ以上設定されていると“ESCAPE”で前のメニューに戻ることができません。

メニュー設定

8-6-5. SCREEN PLACEMENT 16

16 分割画面にチャンネル 1~16 を配置します。
No.01~16 の位置は下図のとおりです。

No. 01	No. 02	No. 03	No. 04
No. 05	No. 06	No. 07	No. 08
No. 09	No. 10	No. 11	No. 12
No. 13	No. 14	No. 15	No. 16

SCREEN PLACEMENT 16			
NO.	CH.	NO.	CH.
• 01	01	09	09
02	02	10	10
03	03	11	11
04	04	12	12
05	05	13	13
06	06	14	14
07	07	15	15
08	08	16	16
ESCAPE		ESCAPE	

※工場出荷時設定

No.01~No.16 に対して、CH.01~CH.16

注意 ●同じチャンネルを 2 つ以上同時に表示することはできません。同じチャンネルが 2 つ以上設定されていると“ESCAPE”で前のメニューに戻ることができません。

8-7.COMMUNICATION

通信の設定をします。

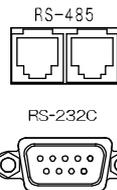
8-7-1.SLAVE ADDRESS

複数台の DMV-160H を RS-485 で制御するときの各機の号機を
設定します。

(00~31)

RS-232C で制御するときは 00 に設定してください。

※工場出荷時設定 00



COMMUNICATION	
• 1. SLAVE ADDRESS----	00
2. DATA RATE-----	9600
3. PARITY-----	EVEN
4. STOP BIT-----	1
5. DATA LENGTH-----	8
6. ESCAPE	

8-7-2.DATA RATE

RS-232C/RS-485 のデータ レートを設定します。

2400/4800/9600/19200/38400(bps)

より選択します。

※工場出荷時設定 9600

8-7-3.PARITY

RS-232C/RS-485 のパリティを設定します。

ODD/EVEN/NONE より選択します。

※工場出荷時設定 EVEN

8-7-4.STOP BIT

RS-232C/RS-485 のストップ ビットを設定します。

1 または 2 より選択します。

※工場出荷時設定 1

8-7-5.DATA LENGTH

RS-232C/RS-485 のデータ長を設定します。

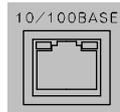
7 または 8 より選択します。

※工場出荷時設定 8

メニュー設定

8-8.ETHERNET

イーサネットの設定をします。
※表示に時間がかかります。(約3秒)



ETHERNET	
●1. IP ADDR-	192. 168. 001. 003
2. GATEWAY-	192. 168. 001. 002
3. ACTIVE--	192. 168. 001. 004
4. SUBNET MASK-----C	255. 255. 255. 000
5. PORT NUMBER-----	09004
6. CONNECTION TRY--	OFF
7. MAINTENANCE	
8. ESCAPE	

8-8-1.IP ADDR

DMV-160H 本体のローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。

◀▶ボタンで点滅を左右に移動させ、▲、▼ボタンで値を変更させます。

8-8-2.GATEWAY

DMV-160H 本体のデフォルト ゲートウェイを設定します。

- LAN で使用するには、そのLAN で共通のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。
 - インターネットを経由して DMV-160H 本体をクライアントとして使用する場合には、属するLAN のデフォルトゲートウェイ アドレスを設定します。
 - インターネットを経由して DMV-160H 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。
- ◀▶ボタンで点滅を左右に移動させ、▲、▼ボタンで値を変更させます。

8-8-3.ACTIVE

通信先のアドレスを設定します。

- LAN で使用するには、通信先のローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。
 - インターネットを経由して DMV-160H 本体をクライアントとして使用する場合には、通信先のIP アドレスを設定します。
 - インターネットを経由して DMV-160H 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。
- ◀▶ボタンで点滅を左右に移動させ、▲、▼ボタンで値を変更させます。

8-8-4.SUBNET MASK

サブネット マスクを設定します。
ほとんどの場合、工場出荷時のクラス“C” のままご使用いただけます。
※工場出荷時設定:C

8-8-5.PORT NUMBER

各機と専用ソフト用のパソコンに共通のポート番号を任意で決めて設定します。
◀▶ボタンで点滅を左右に移動させ、▲、▼ボタンで値を変更させます。
※工場出荷時設定:09004

8-8-6.CONNECTION TRY

DMV-160H 本体をインターネット経由で使用するときに、クライアント/サーバーを設定します。

値	動作	備考
OFF	サーバーとして使用	クライアントからのソケット接続要求をリスン状態で待機する
ON	クライアントとして使用	サーバーに対しソケット接続が確立するまで要求を続ける

※工場出荷時設定:OFF

メニュー設定

8-8-7.MAINTENANCE

メンテナンス 項目です。

8-8-7-1.KEEP ALIVE

通信障害を回避するため、接続を時間ごとに知らせる機能の有効/無効を設定します。

値	動作
ON	有効(推奨)
OFF	無効

※工場出荷時設定:ON

※通信障害は、電源断、ケーブル外れ、ソケットのハーフ コネクション等によるものです。

ETHERNET MAINTENANCE

- 1. KEEP ALIVE-----ON
- 2. TIME REGISTER---50
- 3. MAC **-*-**-*-*-*--**
- 4. ESCAPE

8-8-7-2.TIME REGISTER

“1. KEEP ALIVE” が “ON” のとき、接続を知らせる時間を設定します。

1/2/5/10/20/50 から選択します。

※工場出荷時設定:50(分)

8-8-7-3.MAC

この項目はDMV-160H 本体の MAC アドレス確認用です。16 進数で表示され本体別に異なります。**設定できません。**

専用ソフトの準備

専用ソフトにより DMV-160H の画面表示の操作や本体メニュー項目と同様の設定をすることができます。

※パソコンの動作環境は 46 ページ **必要なシステム構成** をご参照ください。

■ダウンロード

<http://www.n-artics.co.jp/download/app.php>

上記 URL のダウンロード ページより、DMV-160H 専用ソフトの ZIP ファイルをパソコンにダウンロードして保存します。ZIP ファイルの中の “DMV160HSE.exe” を解凍します。

※専用ソフトはバージョン アップする場合がありますので、バージョンをご確認いただき、常に最新の専用ソフトをダウンロード、保存してください。

※RS-232C/RS-485/LAN コマンド表は、アルテックス WEB サイトよりダウンロードできますのでご利用ください。

<http://www.n-artics.co.jp/download/doc.php>

■インストール方法

“DMV160HSE.exe” をパソコンのローカル ディスク内に保存します。デスクトップにショートカット アイコンを作成しておく便利です。



DMV160HSE.exe

■起動画面

“DMV160HSE.exe” を起動させると、右図の基本画面が表示されます。



■ファイル

専用ソフトで設定した各種設定内容は、複数のファイルでパソコンに保存できます。

●新規作成

各項目を出荷時または未入力の状態に戻すことができます。

●開く

保存されているファイルを開いて、ソフトに設定内容を読み込みます。

●上書き保存

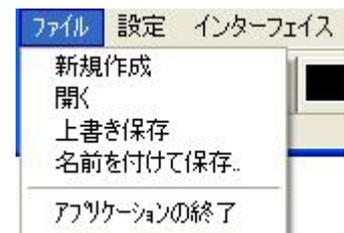
開いているファイルの内容を変更して上書き保存します。

●名前を付けて保存

設定内容を任意の名前を付けて保存します。拡張子は “dat” です。

●アプリケーションの終了

専用ソフト(アプリケーション)を終了します。



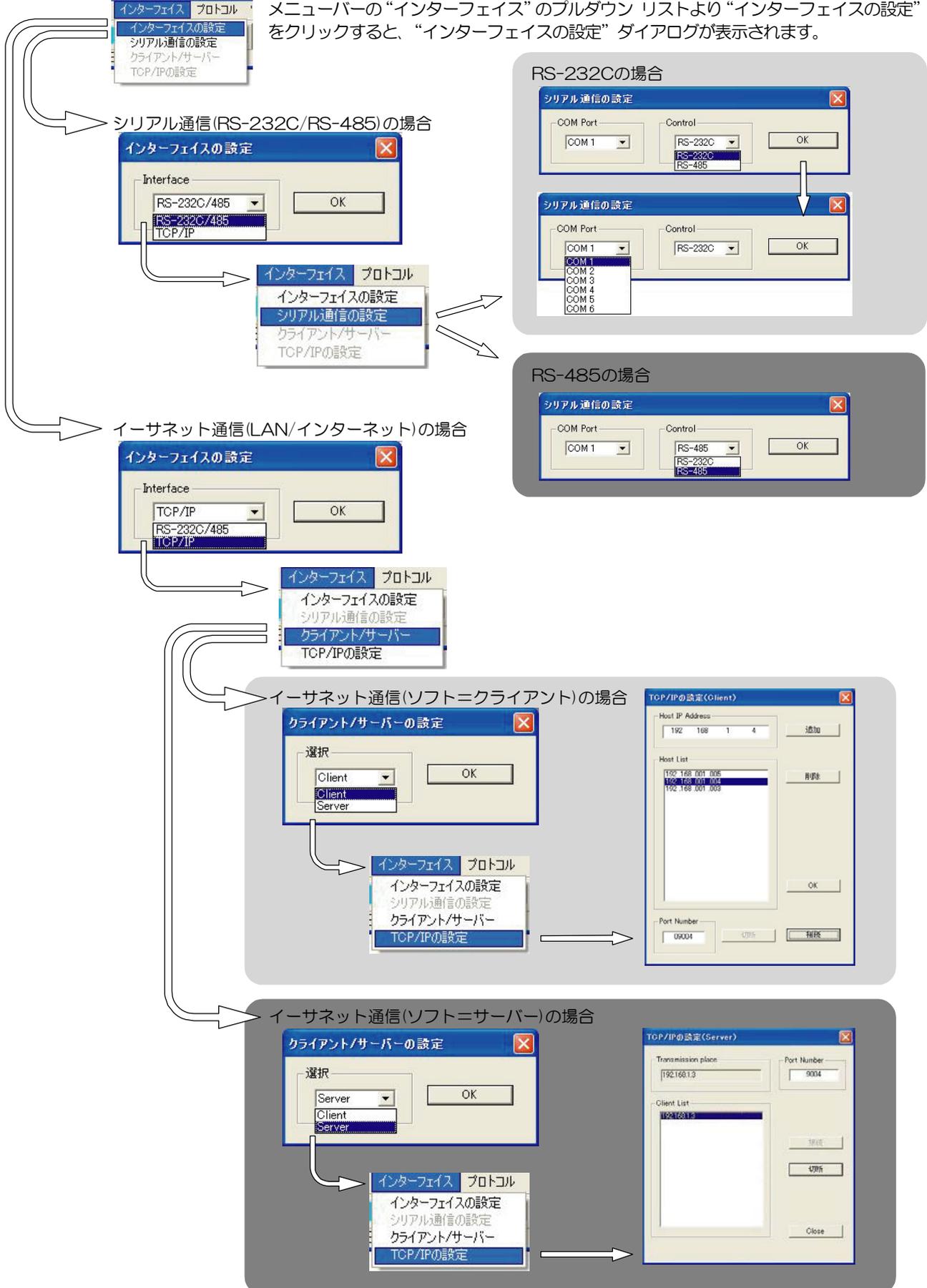
専用ソフトの準備

■インターフェイス

専用ソフトと DMV-160H で送受信するとき、システムの種類によってこの設定を変更する必要があります。

(6 ページ **通信システムの種類** 参照)

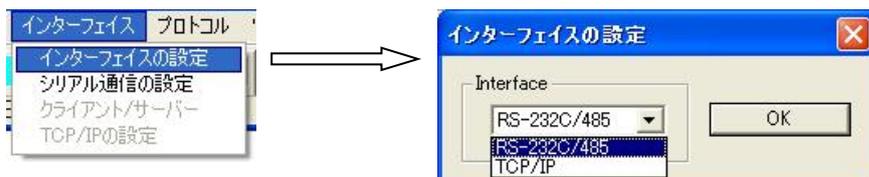
メニューバーの“インターフェイス”のプルダウン リストより“インターフェイスの設定”をクリックすると、“インターフェイスの設定”ダイアログが表示されます。



専用ソフトの準備

●インターフェイスの設定

通信方式をRS-232C/RS-485またはTCP/IPから選択します。



●シリアル通信の設定

通信方式をRS-232CまたはRS-485から選択します。



◆COM Port

使用するパソコンのPortに合わせてください。COM1が特に使用されていない場合は、通常はCOM1を使用してください。

◆Control

RS-232CまたはRS-485を選択してください。

※RS-232Cを選択したときは、各設定項目の“スレーブアドレス”が無効になります。

※RS-485を選択したときは、各設定項目の“スレーブアドレス”が有効になりますので、設定および操作する号機をリストより選択してから設定してください。

“スレーブアドレス”に“Broadcast”を選択して設定すると各号機に一齐送信します。

注意

- カスケード接続内に本機以外の機器があるときは一齐送信はできません。
- 一齐送信時はアンサーバックはありません。

●クライアント/サーバー

通信方式をTCP/IPとしたとき、専用ソフトをクライアントまたはサーバーから選択して設定します。

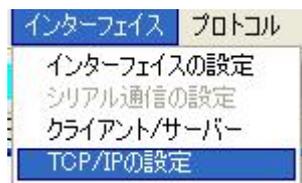


値	動作	備考
Client	クライアントとして使用	サーバー(DMV-160H 本体)に対しソケット接続が確立するまで要求を続ける
Server	サーバーとして使用	クライアント(DMV-160H 本体)からのソケット接続要求をリスン状態で待機する

専用ソフトの準備

●TCP/IP の設定

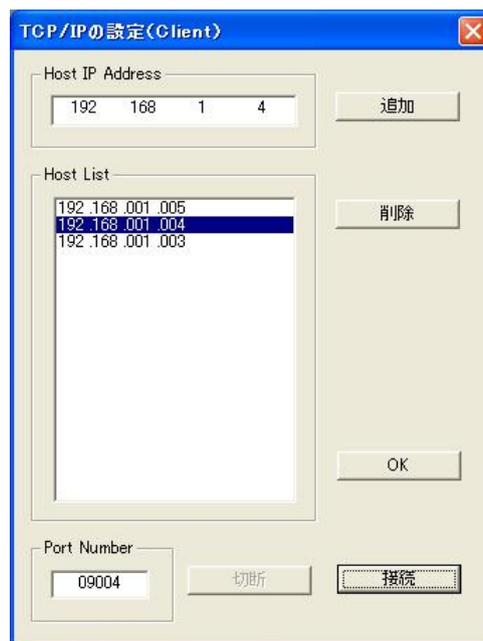
通信方式を TCP/IP としたとき、通信先のアドレスなどを設定します。
クライアント/サーバーの設定により設定ダイアログが異なります。



◆TCP/IP の設定(Client)

- ①接続したい DMV-160H のメニューで設定したポート番号を “Port Number” に入力します。
- ②各 DMV-160H の IP アドレスを “Host IP Address” に入力して “追加” をクリックすると、“Host List” に表示されます。
- ③ “Host List” から接続したい DMV-160H の IP アドレスをダブルクリックすると “Host IP Address” に表示されますので、“接続” ボタンをクリックして接続してください。
- ④ “OK” ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をします。専用ソフトを終了するときは、このダイアログを再び表示させて “切断” をクリックしてから終了してください。

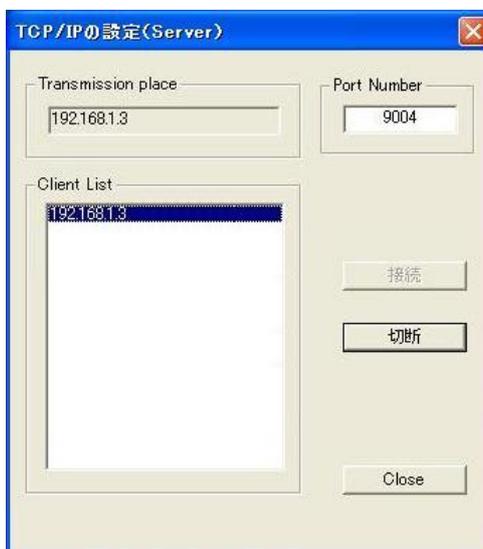
※他の DMV-160H と接続する場合は、“切断” をクリックしてから③の設定をしてください。



◆TCP/IP の設定(Server)

- ①接続したい DMV-160H のメニューで設定したポート番号を “Port No.” に入力します。
- ② “接続” ボタンをクリックしてリスン状態で待つと、“Client List” に各 DMV-160H の IP アドレスが表示されます。
- ③接続したいアドレスをダブルクリックすると “Transmission Place” に表示され決定します。
- ④ “Close” ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をします。専用ソフトを終了するときは、このダイアログを再び表示させて “切断” をクリックしてから終了してください。

※他の DMV-160H と接続する場合は、“切断” をクリックしてから③の設定をしてください。



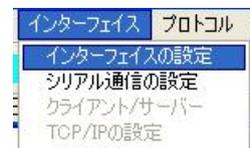
専用ソフトの準備

■プロトコル

イーサネット経由で使用する場合 DMV-160H 本体の IP アドレス等を設定します。
メニューによるイーサネットの設定を専用ソフトでおこなう方法です。(30 ページ 8-8.ETHERNET 参照)

プロトコルの設定時は専用ソフトのパソコンと DMV-160H 本体を RS-232C 経由で接続してください。
DMV-160H ごとに RS-232C 経由で接続して設定してください。

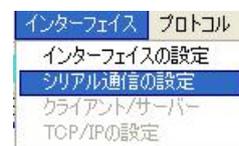
- ①メニューバー “インターフェイス” のプルダウン リストから
“インターフェイスの設定” を選択してクリックします。



- ②インターフェイスの設定ダイアログで “RS-232C/485” を選択して、OK
ボタンをクリックします。



- ③メニューバー “インターフェイス” のプルダウン リストから “シリアル通信の設定”
を選択してクリックします。



- ④RS-232C/RS-485 の設定ダイアログで “Control”
に “RS-232C” を選択して OK ボタンをクリックし
ます。
(“COM Port” は必要に応じて変更してください。)



- ⑤メニューバーの “プロトコル” をクリックし、さらに “プ
ロトコルの設定” をクリックすると、 “プロトコルの設
定” ダイアログが表示されます。



- ⑥ “IP Address” に DMV-160H 本体
のローカル(プライベート)IP アドレス
を入力し設定ボタンをクリックします。

- ⑤ “Gateway Address” に
DMV-160H 本体のデフォルトゲー
トウェイを入力し設定ボタンをクリッ
クします。

- LAN で使用する場合には、その
LAN で共通のデフォルト ゲートウ
ェイ アドレスを設定します。
- インターネットを経由して
DMV-160H 本体をクライアント
として使用する場合には、属する
LAN のデフォルト ゲートウェイ
アドレスを設定します。
- インターネットを経由して DMV-160H 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。



専用ソフトの準備

- ⑥ “Active Address” に通信先のアドレスを入力し設定ボタンをクリックします。

- LAN で使用する場合には、通信先のローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。
- インターネットを経由して DMV-160H 本体をクライアントとして使用する場合には、通信先の IP アドレスを設定します。
- インターネットを経由して DMV-160H 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

- ⑦ “Subnet Mask” にサブネット マスクを選択し設定ボタンをクリックします。ほとんどの場合、工場出荷時の “Class C” のままご使用いただけます。
- ⑧ “Port Number” に、DMV-160H 本体各機と専用ソフト用のパソコンに共通のポート番号を任意で決めて入力し設定ボタンをクリックします。
- ⑨ “Connection Try” は、DMV-160H 本体のクライアント/サーバーを選択し設定ボタンをクリックします。

値	設定	備考
ON	クライアントとして使用	サーバーに対しソケット接続が確立するまで要求を続ける
OFF	サーバーとして使用	クライアントからのソケット接続要求をリスン状態で待機する

- ⑩ “Keep Alive” は、通信障害を回避するため、接続を時間ごとに知らせる機能の有効/無効を選択し設定ボタンをクリックします。通信障害は、電源断、ケーブル外れ、ソケットのハーフ コネクション等によるものです。

値	動作
ON	有効(推奨)
OFF	無効

- ⑪ “Time Register” は、“Keep Alive” が “ON” のとき、接続を知らせる時間を設定します。

値	時間
1	1(分)
2	2(分)
3	5(分)
4	10(分)
5	20(分)
6	50(分)

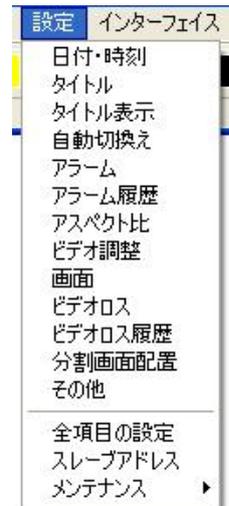
- ⑫ 読み込みボタンは、本機の “MAC Address” と “Version Number” を確認したい場合にクリックします。
 “MAC Address” は本体底面に貼付の MAC アドレス ラベルと一致します。
 “Version Number” は本体に組み込まれたファームウェアのバージョンです。機器メンテナンスのときに確認する場合があります。

- ⑬ “Close” ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

専用ソフトの操作方法

■設定

13種類のボタンと、メニューバー“設定”のプルダウンリストの項目は同じものです。



●転送・保存

各シートで値を変更したら **設定** をクリックすると値がDMV-160H本体に転送・保存されます。

転送・保存されるとDMV-160H本体に記憶され、電源を切っても保存されます。

各シートの設定内容を一括で本体に転送・保存するには、“全項目の設定”をします。

- 注意**
- “設定” をクリックせずに “Close” などシートを閉じた場合は転送されません。
 - メニュー表示中は専用ソフトからの設定はできません。
メニューを終了してから設定してください。
 - ケーブルの結線ミスや本体の電源が立ち上がっていない状態で専用ソフトの操作をした場合、タイムアウト エラーを検知しエラーメッセージを表示します。

1.日付・時刻

日付・時刻の調整と画面表示を設定します。

日付・時刻の表示位置は画面中央上部です。

●年月日時分秒の調整

年月日時分秒にそれぞれ数値を選択して、それぞれの“設定”ボタンをクリックすると、本体に値が送信されます。

●30秒補正

時刻の30秒補正をします。

設定時の秒の値	調整される時間
00～29(秒)	現在の分の00(秒)
30～59(秒)	1分進んで00(秒)

●表示

時刻の表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	画面に日付・時刻を表示する
OFF	画面に日付・時刻を表示しない

●表示レンジ

日時を表示範囲を設定します。

値	表示例
年月日時分秒	2011.02.24 14:29:34
年月日時分	2011.02.24 14:29
年月日	2011.02.24
月日時分秒	02.24 14:29:34
月日時分	02.24 14:29
月日	02.24
時分秒	14:29:34
時分	14:29



専用ソフトの操作方法

2.タイトル

タイトルを入力してプリセットします。

●タイトル

“チャンネル”に ch.01～ch.16 を選択し、“タイトル”に文字を書き込みます。

かならず半角文字を使用してください。

使用可能な英数字、記号は下記のとおりです。

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ
[] ° + - / : ,

ch.01 = CH01	ch.09 = CH09
ch.02 = CH02	ch.10 = 12345678
ch.03 = CH03	ch.11 = 90
ch.04 = CH04	ch.12 = ABCDEFGH
ch.05 = CH05	ch.13 = IJKLMNOP
ch.06 = CH06	ch.14 = QRSTUVWX
ch.07 = CH07	ch.15 = YZ
ch.08 = CH08	ch.16 = [°+ - / : ,]

チャンネル: ch.01 タイトル: CH01 スレーブアドレス: Broadcast

設定 全設定 % Close

- 注意**
- 全角英数および全角記号は使用できません。
 - アルファベット小文字は使用できません。
 - スペースも半角を使用してください。

●設定

表示中のチャンネルに入力されたタイトルだけ DMV-160H に転送・保存されます。

●全設定

ch.01～ch.16 の全チャンネルに入力されたタイトルが DMV-160H に転送・保存されます。

- 注意** ●タイトルが空欄のチャンネルがあると、その空欄も転送・上書きされてしまいますので、ご注意ください。

3.タイトル表示

各画面のタイトルの表示/非表示を設定します。

単画面および 4～16 分割画面それぞれに ON/OFF を選択して、それぞれに対する“設定”ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

Single Screen: ON Div.4 Screen: ON Div.6 Screen: ON

Div.9 Screen: ON Div.12 Screen: ON Div.16 Screen: ON

スレーブアドレス: Broadcast

設定 設定 設定 設定 設定 設定 Close

専用ソフトの操作方法

4.自動切換え

オート シーケンス(自動切換え)動作を設定します。

●モード

オート シーケンス動作の表示画面のパターンを設定します。

値	動作
Single	単画面だけの自動切換え
Division	分割画面だけの自動切換え
Mix	単画面と分割画面の自動切換え

●時間(秒)

“画面”でch.01~Div.16を選択し、“時間(秒)”で表示時間0~99(秒)を設定します。
0(秒)を設定するとその画面をスキップします。

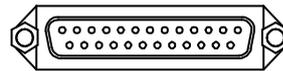
●同時間

各画面をすべて同じ表示時間0~99(秒)に設定します。



5.アラーム

背面のアラーム/リモート信号入出力コネクタに信号入力があったときの、アラーム動作を設定します。



アラーム/リモート

●モード

アラーム動作の保持モードを設定します。

値	動作
Internal	“保持時間”で設定した時間、アラーム動作を保持する
External	センサー信号等が入力されている間、アラーム動作を保持する

●保持時間

アラーム動作の保持時間を 003~999(秒)の間で設定します。

※002(秒)以下の設定はできません。

※“モード”が“Internal”のとき有効です。

●入力極性

入力信号の検出点を設定します。

値	動作
Make	ノーマル オープン(センサー等が閉じたとき検出)
Break	ノーマル クローズ(センサー等が開いたとき検出)

※“モード”が“Internal”のとき有効です。

●表示

アラーム動作中“ALARM”の表示を設定します。

値	動作
ON	画面左上に“ALARM”を表示する
OFF	画面左上に“ALARM”を表示しない

●リターン

アラーム動作解除後のチャンネル表示を設定します。

値	動作
ON	アラーム前の状態に戻る
OFF	アラーム入力があったチャンネルの単画面のまま表示



アラーム表示例

専用ソフトの操作方法

6.アラーム履歴

アラーム動作の履歴を表示します。

- 読み込み
“読み込み” ボタンをクリックすると、DMV-160H 本体のアラーム履歴(件数,アラーム番号,チャンネル,日付,時刻)を読み込んで表示します。
- ページ
“ページ” に 01~10 を選択すると、10 件ずつ最大 100 件までの履歴が表示されます。履歴が 100 件を越えると、古い記録から消去されます。1 件目のデータは消去され、2 件目の記録が 1 件目に移動します。
- 全消去
DMV-160H 本体に記録されているアラーム履歴が消去されます。

注意 ●アラーム履歴は、デフォルト セット(全項目)をおこなうと、すべて消去されます。

7.アスペクト比

各画面のアスペクト比をそれぞれ設定します。

下表のとおり、設定された映像サイズにより設定できる値が変わります。4:3 固定と表示されている場合は、FULL は設定できません。

(26 ページ 8-4.SCREEN SIZE 参照)

映像サイズとアスペクト比の設定値の関係

映像サイズ	1920×1080	1280×1024	1280×768	1024×768
画面				
単画面	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 固定
4 分割画面	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 固定
6 分割画面	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL
9 分割画面	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 固定
12 分割画面	4:3 固定	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL
16 分割画面	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 / FULL	4:3 固定

専用ソフトの操作方法

8.ビデオ調整

映像レベルをチャンネルごとに設定します。

“チャンネル”で1～16を選択してから各項目を設定してください。

	ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08
Brightness	000	000	000	000	000	000	000	000
Contrast	092	092	092	092	092	092	092	092
Hue	000	000	000	000	000	000	000	000
Sharpness	01	01	01	01	01	01	01	01
Saturation U	128	128	128	128	128	128	128	128
Saturation V	128	128	128	128	128	128	128	128

- Brightness
映像の明るさを調節します。256段階(000～255)
- Contrast
映像のコントラストを調節します。256段階(000～255)
- Hue
映像の色調を調節します。256段階(000～255)
- Sharpness
映像のシャープネスを調節します。16段階(00～15)
- Saturation U
映像のクロマU色相を調節します。256段階(000～255)
- Saturation V
映像のクロマV色相を調節します。256段階(000～255)

9.画面

画面に表示する映像を設定します。

- Power On Screen
電源スイッチを入れたときに最初に表示する画面を設定します。
- 画面切り換え
現在の画面表示を設定します。
前面部の各ボタンを押したときと同じ動作をします。

画面の設定

Power On Screen: Div.16 [設定]

画面切り換え: Auto [設定]

スレーブアドレス: Broadcast [Close]

専用ソフトの操作方法

10.ビデオ ロス

映像入力 1~16 に映像が入力されていない状態を検出したときのビデオ ロス動作を設定します。

●検出

ビデオ ロスの検出/非検出をチャンネルごとに設定します。“チャンネル”で1~16を選択してから“検出”でON/OFFを設定します。

値	動作
ON	映像の無入力を検出してビデオ ロスを表示,出力,記録する
OFF	映像の無入力を検出しない

●表示

ビデオ ロスを検出したとき画面右上“LOSS”の表示を設定します。

値	動作
ON	“** LOSS”を表示する(**はチャンネル)
OFF	ビデオ ロスを検出しても“** LOSS”を表示しない



ビデオ ロス表示例

●背景色

ビデオ ロス時の画面背景色を設定します。

値	背景色
NORMAL	黒表示
BLUE	青表示



11.ビデオ ロス履歴

ビデオ ロス動作の履歴を表示します。

●読み込み

“読み込み”ボタンをクリックすると、DMV-160H 本体のビデオ ロス履歴(件数,ビデオ ロス番号,チャンネル,日付,時刻)を読み込んで表示します。

●ページ

“ページ”に01~10を選択すると、10件ずつ最大100件までの履歴が表示されます。履歴が100件を越えると、古い記録から消去されます。1件目のデータは消去され、2件目の記録が1件目に移動します。

●全消去

DMV-160H 本体に記録されているビデオ ロス履歴が消去されます。

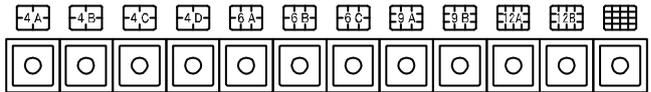


注意 ●ビデオ ロス履歴は、デフォルト セット(全項目)をおこなうと、すべて消去されます。

専用ソフトの操作方法

12.分割画面配置

各分割ボタンを押したときに表示される各分割画面にチャンネル 1~16 を配置します。



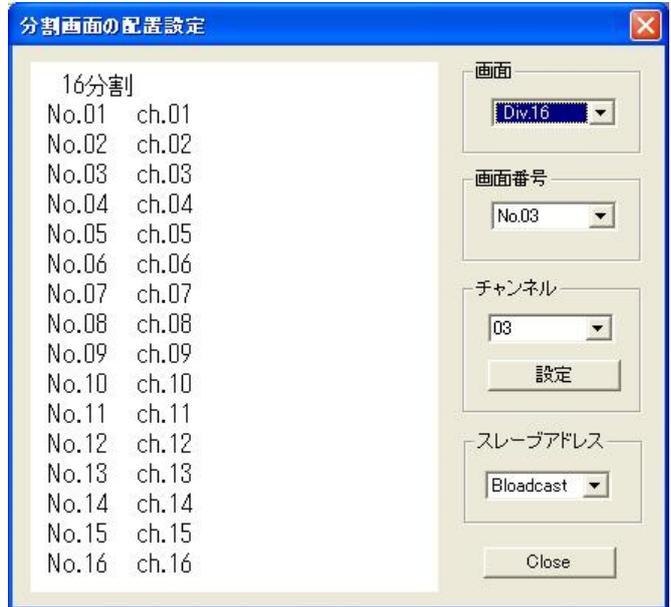
- 画面

分割画面を選択します。

- 画面番号とチャンネル

“画面番号”で位置を選択して“チャンネル”で01~16を選択して配置します。

注意 ●同じチャンネルを2つ以上同時に表示することはできません。



各分割画面の画面番号の位置は下図のとおりです。

No. 1	No. 2
No. 3	No. 4

No. 1	No. 2	No. 3
No. 4	No. 5	No. 6

No. 1	No. 2	No. 3
No. 4	No. 5	No. 6
No. 7	No. 8	No. 9

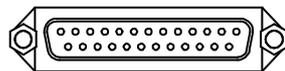
No. 01	No. 02	No. 03	No. 04
No. 05	No. 06	No. 07	No. 08
No. 09	No. 10	No. 11	No. 12

No. 01	No. 02	No. 03	No. 04
No. 05	No. 06	No. 07	No. 08
No. 09	No. 10	No. 11	No. 12
No. 13	No. 14	No. 15	No. 16

13.その他

- コネクタ入力

背面のアラーム/リモート信号入出力コネクタの用途を設定します。



値	動作
ALARM	アラーム入力として使用する
REMOTE	リモート単画面として使用する

- ボーダーライン

分割画面時のボーダーライン(境界線)を設定します。

値	表示
BLACK	黒のボーダーライン
GRAY	グレーのボーダーライン
WHITE	白のボーダーライン



専用ソフトの操作方法

●キャラクタ表示サイズ

日付,タイトル,アラーム等の文字サイズを設定します。

値	サイズ
NORMAL	標準サイズ
SMALL	小さいサイズ

●メニューOFF

DMV-160H 本体のメニューを終了します。

メニュー表示中は専用ソフトからの設定はできません。



14.全項目の設定

書き込みボタンをクリックすると、各設定内容を一括で送信します。

送信には時間がかかります。



15.スレーブアドレス

インターフェイスでRS-485の使用を設定したときだけ有効になります。

(33 ページ ●シリアル通信の設定 参照)

接続したいDMV-160Hの号機(00~31,Broadcast)を一括で指定することにより、各設定画面の“スレーブアドレス”の項目にあらかじめ号機(00~31,Broadcast)が入力された状態になります。

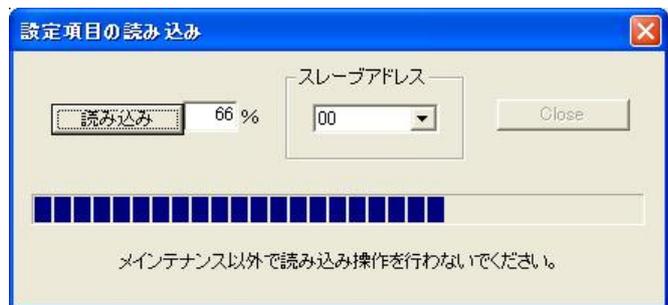
注意 ●RS-232C と RS-485 を同時に使用することはできません。



16.メンテナンス(設定項目の読み込み)

読み込みボタンをクリックすると、DMV-160H 本体の設定内容を専用ソフトに読み込みます。

読み込みには時間がかかります。

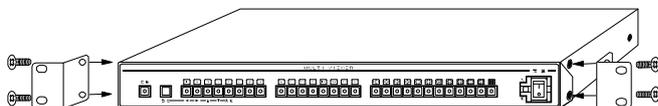


ラック マウント方法

19 インチ ラック(JIS/EIA)への本体の据え付け方法です。

ラック マウント金具につきましては、次ページの製品仕様 ■別売品 をご参照ください。

注意 ●機器の放熱効果を妨げないために、通風孔(側面)をふさがないように設置してください。
●周囲温度 0~40℃の環境で使用するため、他の機器とのすき間を十分確保するように据え付けてください。



製品仕様

- 映像入力 NTSC 方式準拠
- カメラ映像入力 1.0Vp-p 75Ω終端 BNC 端子 16 系統
各系統ループスルー付 ループスルー時 75Ω終端 OFF BNC 端子
- モニター映像出力 DVI 出力 DVI-I 端子 1 系統
NTSC 出力 BNC 端子 1 系統
- アラーム入力端子 D-sub25 ピン(メス) 無電圧メイク/ブレイク接点(TTL レベル) 16 系統
パルス幅:100msec.以上 パルス間隔:200msec.以上
- アラーム出力端子 D-sub25 ピン(メス) オープン コレクタ DC12V 100mA 以下 1 系統
- ビデオ ロス出力端子 D-sub25 ピン(メス) オープン コレクタ DC12V 100mA 以下 1 系統
- リモート入力端子 D-sub25 ピン(メス) 無電圧メイク接点(TTL レベル) 18 系統
- RS-232C D-sub9 ピン(オス) (RXD, TXD, COMMON) RS-232C 信号規格準拠 1 系統
- RS-485 6 極 4 芯モジュラー ジャック(RJ11)×2(ループスルー)
RS-485 信号規格準拠(Half Duplex)
- イーサネット RJ-45 10/100BASE
- アラーム保持時間 約 003~999 秒に可変
- 映像出力表示 自動切換え画面, 単画面, 4 分割, 6 分割, 9 分割, 12 分割, 16 分割画面
すべて 1/60(秒)リフレッシュ
- 自動切換え 切換え時間:表示ごとに約 00~99(秒)に可変
- 映像サイズ HD1080p /SXGA /WXGA /XGA
- アスペクト比 4:3 /FULL
- 日時表示 年月日時分秒 画面中央上部
- タイトル表示 英数字,記号 各チャンネル最長 8 文字
- 分割画面境界線 黒/白/グレー
- 周囲温湿度 0~40℃ RH20~90%(但し, 結露無きこと)
- 電源電圧 AC100V±10% 50/60Hz
- 消費電力 約 10W
- 外形寸法 420(W)×251(D)×44(H)(mm) (ゴム足, 突起部除く)
- AC 入力ケーブル長 約 1.7(m)
- 質量 約 3.3kg
- 付属品 取扱説明書(本書)
- 別売品 ※販売店までお問合せください

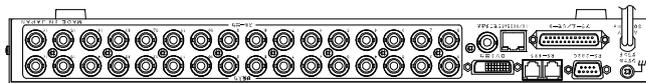
・ラック マウント金具

キット型番	ラック規格	構成
RMI-J1-421	JIS	小金具×2
RMI-E1-421	EIA	小金具×2

・リモート コントローラー

・RS-232C/RS-485 変換機

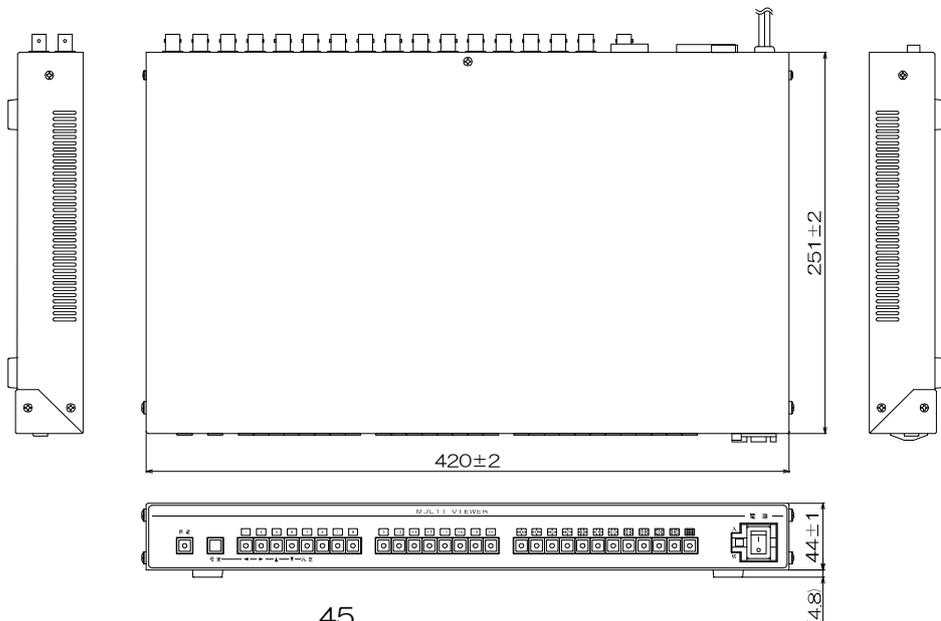
■外觀図



※DVI 端子, D-sub 端子は
インチネジ#4-40UNC
を使用しています。

※仕様および外觀は, 改良そ
の他の理由により, 予告な
く変更する場合がございます。

※本機は日本国内のみの使
用に基づいて設計・製造さ
れています。



故障かなと思う前に…

症 状	確 認 事 項
映像が出ない	●ACケーブルがコンセントからはずれていませんか ●カメラからの映像信号は入力されていますか ●モニターに映像出力が正しく接続されていますか
映像にノイズが出る	●カメラの同軸ケーブルは正しく接続されていますか ●カメラの同軸ケーブルの近くに電源線がありませんか
リモートおよび アラーム入力が正常に動作しない	●ケーブルの配線は正しく接続されていますか ●配線ケーブルにノイズがのっていませんか ●スイッチ、リレー接点に0.01～0.1 μFのセラミック コンデンサーを取り付けてありますか
メニューが表示されない	●映像入力1に映像信号が入力されていますか

修理を依頼されるときは

- 本機が正常に動作しないときは、次の操作をおこなってください。それでもなお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
 - ・デフォルト セットして各設定値を工場出荷時設定に戻し、動作をご確認ください。
 - ・「安全上のご注意」「故障かなと思う前に…」をもう一度ご覧いただき、環境動作をご確認ください。
- 修理をお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名： 16チャンネル マルチビューワ DMV-160H

症状： 設置状態を含め、できるだけ詳細にお知らせください。

品質保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、ご使用中に発生した故障については、お買い上げの日より1年間、無償にて修理させていただきます。

※保証期間内であっても、下記の場合有償となる場合がございます。

- ①お買い上げの年月日、および販売店について証明となるものをご提示いただけない場合。
- ②ご使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障および損傷。
- ③お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ④火災、地震、水害、落雷、その他天変地異のほか公害、塩害、異常電圧などが原因となって発生した故障および損傷。
- ⑤故障の原因が本機以外にあり、本機に改善を要する場合。
- ⑥付属品などの消耗品による交換。

おことわり

本機は、その特徴上、犯罪や災害等の監視のためにご使用されるケースが考えられますが、決して犯罪や災害の抑制、および防止機器ではありません。

また、本機のご使用方法の誤り、不当な修理や改造のほか、誘導雷サージを含む天災などの被害により発生した事故や、人身事故および災害、盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

必要なシステム構成

専用ソフトを動作させるために、お使いのパソコンは次の環境を有している必要があります。

- Microsoft® Windows 7 日本語版, Windows 8.1 日本語版, Windows 10 日本語版,
- 400KB以上の空き容量のあるハードディスク
- EthernetポートまたはRS-232Cポート(シリアルポート)
- Microsoft® IME 日本語入力システム

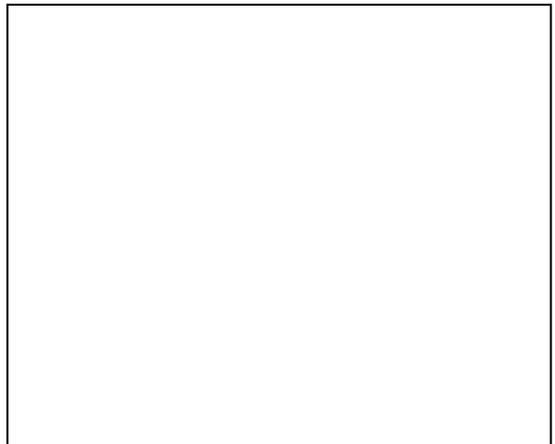
保証書

品名 : DMV-160H	本体裏シールの SER. No. (製造番号) をご記入ください No.	
お客様名 : ご住所 〒 TEL:	様	取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 1年間	

Artics

株式会社 アルテックス

住 所 神奈川県相模原市南区麻溝台 8-22-1
営業部ダイヤルイン 042(742)2110
F A X 042(742)3631
E - M A I L info@n-artics.co.jp
U R L <http://www.n-artics.co.jp>



発行 2017.12.06